

# 愛媛の助産師資料目録



# ごあいさつ

---

愛媛県歴史文化博物館は、平成6（1994）年の開館以来、多くの方々のご協力に支えられ、継続して愛媛県の歴史文化に関する資料を収集し、整理・保管のうえ、展示や調査に取り組んでまいりました。こうした博物館の諸活動のうち、収蔵資料の有効的な活用を図るため、資料目録を逐次刊行しております。

今回の目録（第34集）は、平成23（2011）年度と24（2012）年度、そして令和5（2023）年度に当館に寄贈された助産師関係資料を収録したものです。

助産師とは、妊娠から出産、産後の育児に至るまで母子の健康を支える専門職の女性です。かつては産婆、助産婦と称され、イメージされるのは赤ちゃんを取り上げる「助産」業務だと思われませんが、妊娠出産のみならず、受胎調節や育児の助言・指導にも従事しました。

本目録では、助産関連の医療器具、産婆記録や証書・通知類など、愛媛県の助産師及び助産師が勤務していた母子健康センターに関わる資料を収録しており、大正から昭和時代にかけての愛媛県での妊娠出産、受胎調節、育児の歴史をたどる上で重要な資料です。

妊娠出産の前後にかけて、自分の身体でありながらまなまならぬ身体に戸惑い悩む女性達に、助産師は時に強く、時に優しく女性達に寄り添ってきました。子どもを授かり、出産し、育てることは当たり前のように当たり前ではなく、それを助ける仕事には大きな喜びもある一方できれい事ではない厳しい現実も立ちほだかります。深い知識と多くの経験を身につけた助産師は、誇りをもって沈着冷静にその仕事に取り組み、地域の女性やその家族とともに歩んだ様子が、残された資料から浮かび上がります。

本目録の刊行が、妊娠に悩み、出産に喜び、育児に嘆息し、子の成長に微笑む現代の女性とその家族の背中を押すとともに、助産師及び産育習俗研究の調査の一助となれば幸いです。

最後に、本目録の刊行にあたり、貴重な資料をご寄贈いただきました方々をはじめ、調査・収集にあたり、ご指導・ご協力をいただきました方々に厚くお礼申し上げます。

令和8年3月

愛媛県歴史文化博物館

# 目 次

---

ごあいさつ	1
目 次	3
凡例・謝辞	4
写真図版	5
解 題	13
資料目録	
浅川静助産師関係資料	23
福島キクエ助産師関係資料	42
宇都宮笑助産師関係資料	46
三間町母子健康センター関係資料	50
資料紹介	
「八幡浜地区指導員日誌」	51

# 凡 例

---

1. 本目録は愛媛県歴史文化博物館が所蔵する愛媛の助産師関係資料の目録である。
2. 本目録において、受入番号「4253」及び「4692」は「浅川静助産師関係資料」、「4279」は「福島キクエ助産師関係資料」、「4299」は「宇都宮笑助産師関係資料」、「4276」は「三間町母子健康センター資料」を指し、さらにそれぞれの資料には個別の資料番号をつけた。
3. 寸法は、資料の縦、横、高さの順に記載し、単位はcmである。
4. 点数は構成資料の数であり、種類によってその単位は点、冊、枚、本などと示す。
5. 西暦および元号は、資料が制作された年月日、書籍等の場合は発行年月日であり、資料に年代の記載がないものは空欄とした。
6. 説明は、資料内容の概略を記している。
7. 資料番号下に★印のついているものは、個人情報等があるため、特別利用（閲覧や展示等）の際に公開を制限する資料である。ただし★印のない資料についても、事情により公開を制限する場合がある。
8. 資料紹介では、時系列に表形式に内容を抽出してまとめた。原則として常用漢字を用い、読みやすくするため適宜読点（、）、句点（。）、並列点（・）をつけた。判読できない箇所は□とし、明らかな誤字・脱字は改めた。「巡回地区名および世帯名」の項目は省略し、人名はイニシャルで表記した。記載のない欄は、「記載なし」とした。下線部の文章は、日本通運株式会社八幡浜営業所の担当者のコメントである。
9. 産婆、助産婦、保健婦、看護婦等の名称は現代では使用されないが、資料が使用された時代の社会的背景の理解のため、当時の法律上の職業名称をそのまま用いた。
10. 本目録の編集・執筆は当館専門学芸員松井寿が担当し、同専門学芸員今村賢司と学芸員横井蒼大が補佐した。資料の整理作業は、当館職員井上文子（令和5年度）、当館職員新開三妃子の協力を得た。

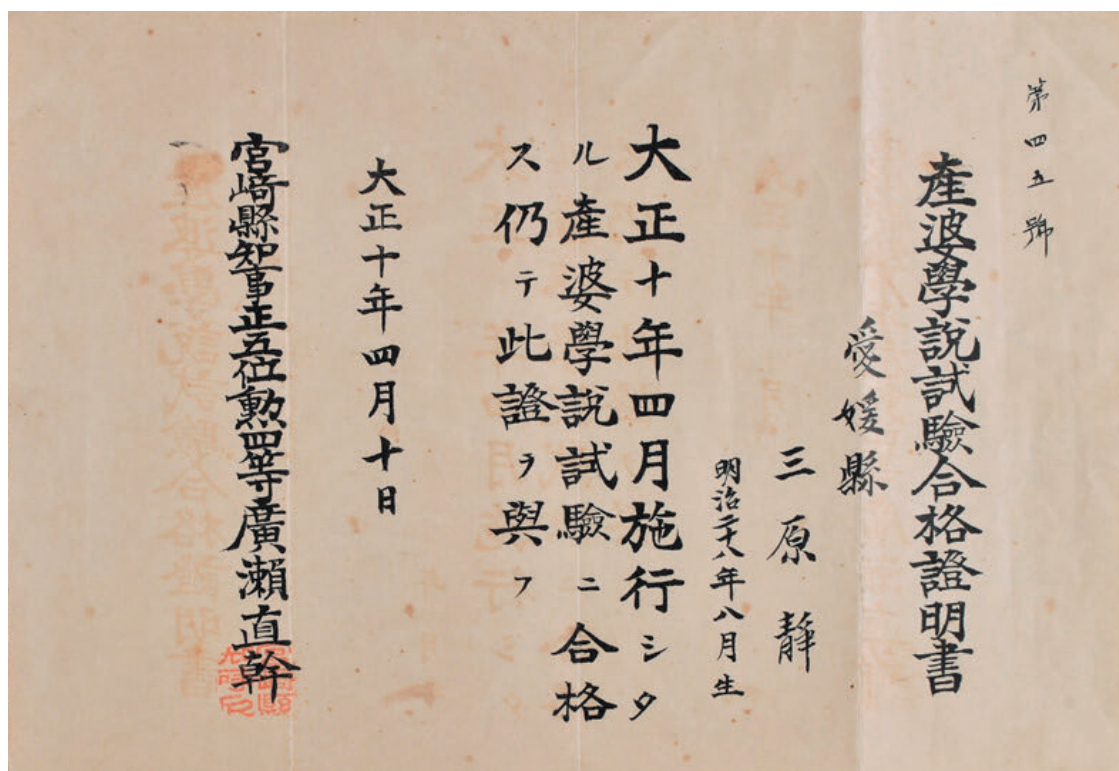
# 謝 辞

---

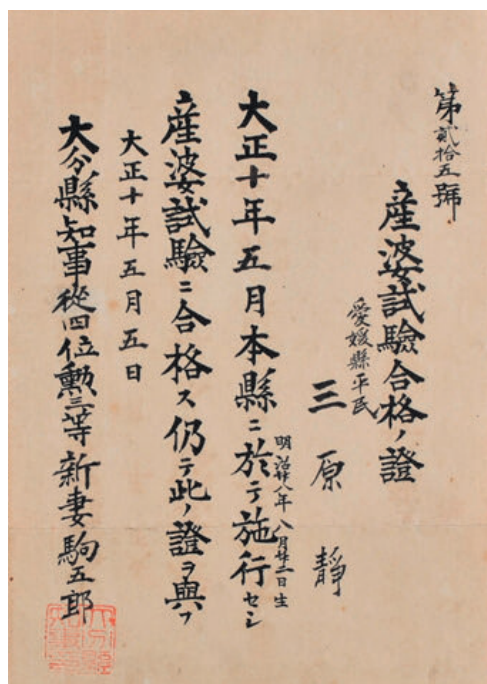
本目録の刊行にあたり、下記の機関・個人の方々から多大なるご助力を賜りました。記して謝意を表します。(五十音順、敬称略)

茨城県立歴史館

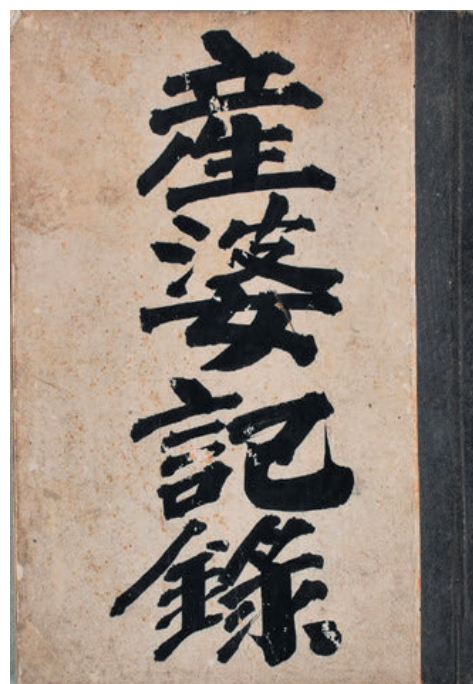
写 真 图 版



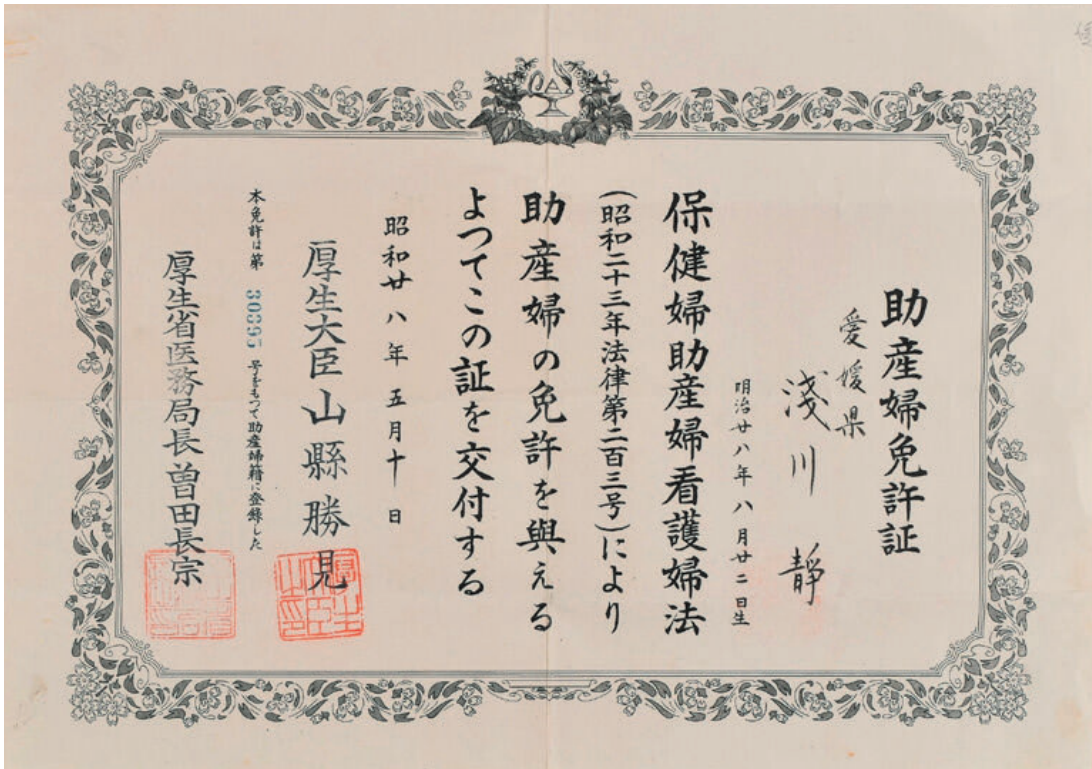
図版1 (文書3-1 資料番号1122000056)  
産婆学説試験合格証明書  
大正10(1921)年



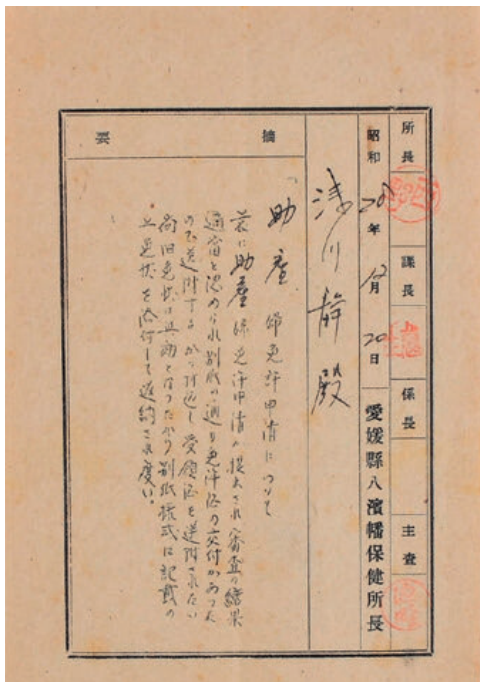
図版2 (文書3-2 資料番号1122000057)  
産婆学試験合格ノ証  
大正10(1921)年



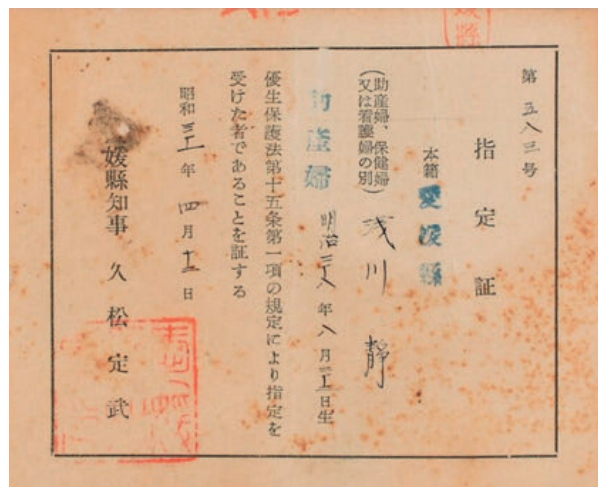
図版3 (文書1-1 資料番号1122000053)  
産婆記録  
大正12(1923)~13(1924)年



図版4 (文書3-5 資料番号1122000062)  
助産婦免許証  
昭和28(1953)年



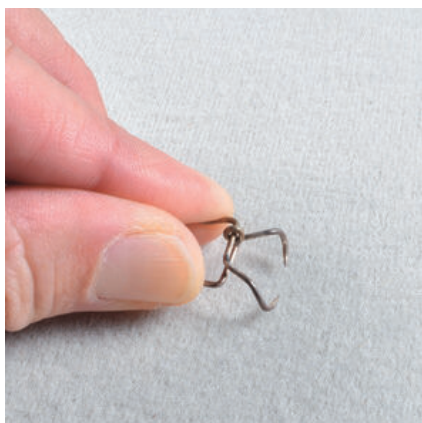
図版5 (文書3-6 資料番号1122000076)  
助産婦免許申請について  
昭和28(1953)年



図版6 (文書3-10 資料番号1122000060)  
指定証  
昭和31(1956)年



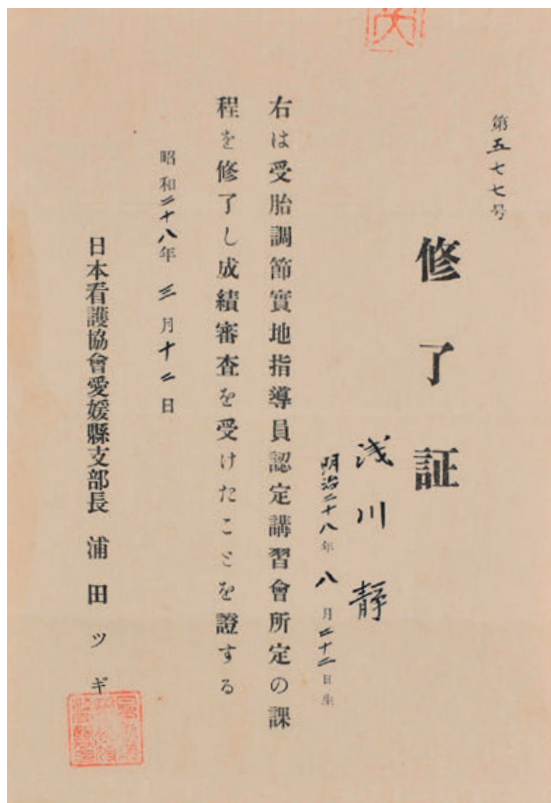
図版7 (器具30~35 資料番号1122000099~1122000104)  
分娩セット全体写真



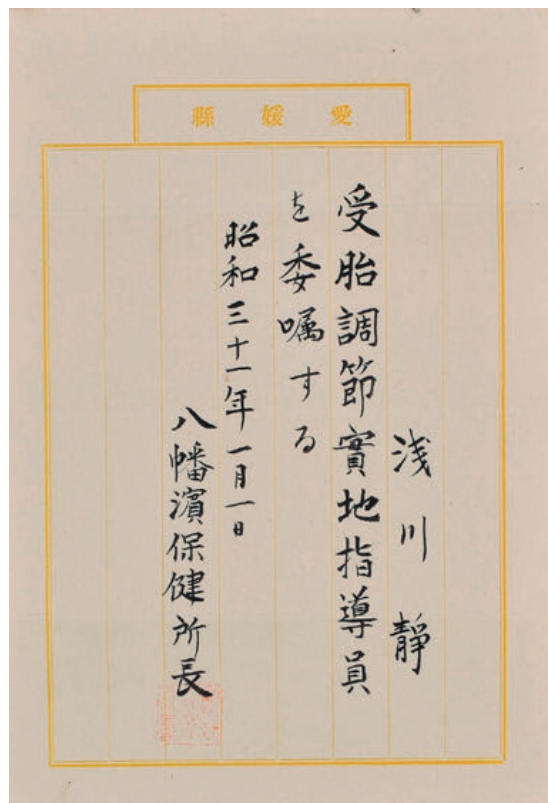
図版8 (器具22 資料番号1122000048)  
クレンメ



図版9 (器具15 資料番号1122000037)  
硝酸銀点眼液 新生児用



図版10(文書3-8 資料番号1122000061)  
修了証  
昭和28(1953)年

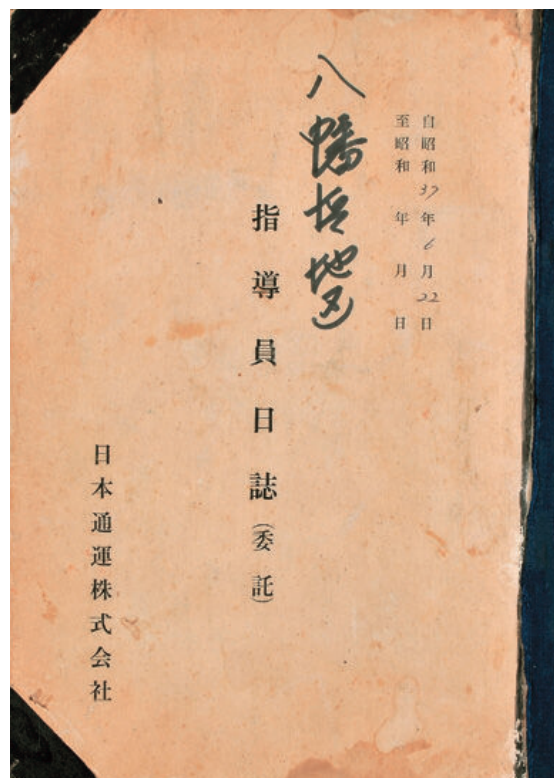


図版11(文書3-9 資料番号1122000063)  
愛媛県受胎調節実地指導員委嘱証  
昭和31(1956)年

家族計画訪問指導報告書 (年 月 分)

指導員 氏名	区分	前月以前からの継続指導回数	本月中新たに開始した回数	計	本月中の指導回数
		指導員	指導員		
その他	その他				
計					
器具・薬品の発注状況	器具品名	前月からの備品数	本月中の受入数	本月中の配布数	差引残数
	コンドーム				
	ゼリー				
	ヤンマー				
特記事項					
上記のとおり報告します					
昭和 年 月 日					
八幡濱保健所長 指導員 氏名					

図版12(文書1-18 資料番号2322000198)  
家族計画訪問指導報告書



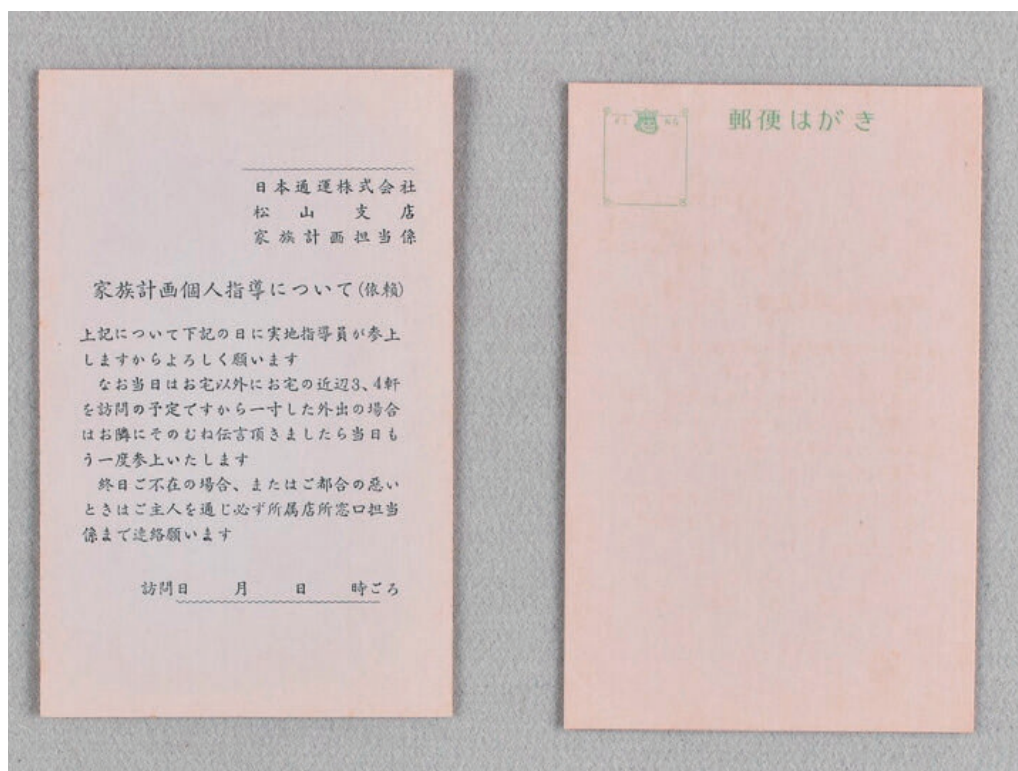
図版13(文書1-4 資料番号2322000059)  
八幡濱地区指導員日誌(委託)  
昭和37(1962)~40(1965)年



図版14(文書5-21 資料番号1122000086)  
『グループのしおり 明るい暮しと楽しい話し合い』  
昭和38(1963)年

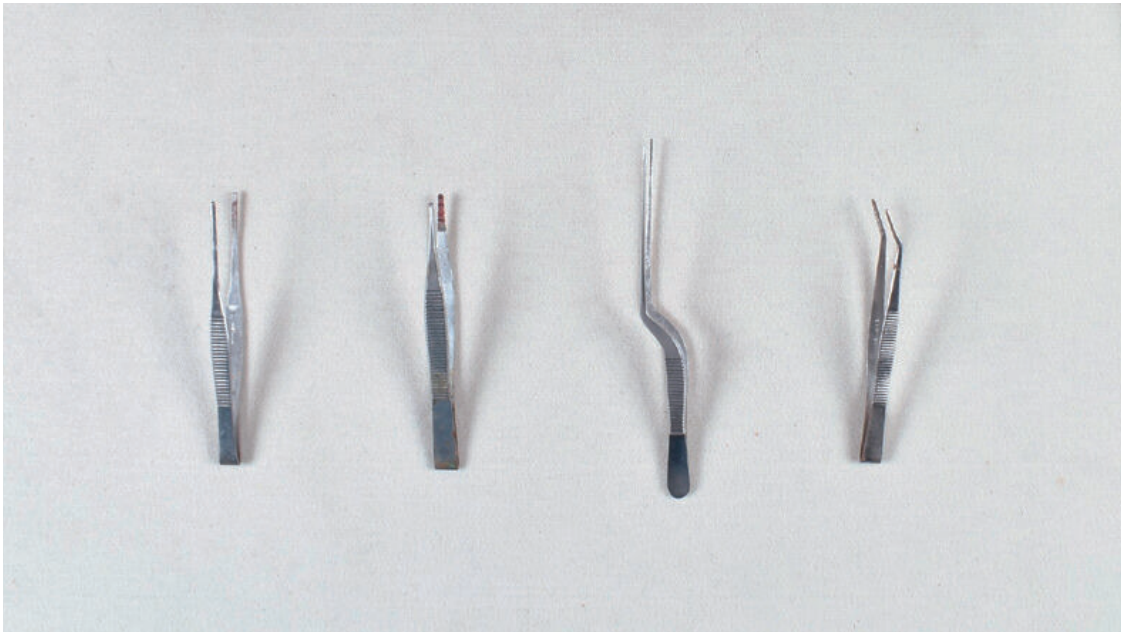


図版15(文書5-22 資料番号2322000044)  
『わが家の生活設計』  
昭和38(1963)年



図版16(文書1-19 資料番号1122000087)  
家族計画個人指導についての依頼葉書

福島キクエ助産師関連資料



図版17(整理番号3~6 資料番号1222000045~122200048)  
ピンセット



図版18(整理番号10 資料番号1222000052)  
爪切り



図版19(整理番号2 資料番号1222000044)  
体重計

宇都宮笑助産師関係資料



図版20(資料番号1222000024~1222000037、1222000058)  
道具一式

# 解題

## 1 はじめに

出産の介助をする女性は、かつてはトリアゲバアサンと呼ばれることが多く、『愛媛県史』によれば、愛媛県ではトラゲバアサン（今治市玉川町）・ヒキアゲバア（松山市中島町）・コトリオンバ（西予市城川町）・ヘソバア・コトリバア・ハラトリバア（以上南宇和郡・北宇和郡）<sup>1</sup>などと呼ばれ、各地の肝の据わったしっかりものの老女が頼りにされていた。

明治7（1874）年に出された医制によって、トリアゲバアサンが簡単な講習を受講することで産婆の仮免許を交付されることとなり、産婆の免許要件や業務範囲が明確化された。明治32（1899）年には産婆規則が制定され、産婆試験規則および産婆名簿登録規則を定め、「産婆」が全国的に統一される。

戦後、連合国軍最高司令官総司令部（GHQ）の方針で、看護全体としての団体結成に努力するように、との指導がなされた。昭和21（1946）年には、3つの職能団体である日本産婆会、帝国看護協会、日本保健婦協会が統合され、日本産婆看護婦保健婦協会が結成された。日本産婆会は、その中の産婆部会として設置された。翌年の昭和22（1947）年には産婆規則が助産婦規則に改正され、産婆は助産婦と変更された。昭和23（1948）年には、保健婦助産婦看護婦法が公布され、昭和26（1951）年の改正施行によって、助産婦の資格を得るには看護婦の資格を取得した上、国家試験を受けることとなり、看護職の一つとして扱われるようになった。

戦後日本社会では、人口が急増し経済状況が悪化したことから、生活困窮者の中でヤミ墮胎が横行する。昭和23（1948）年に少子化政策として優生保護法（1996年に母体保護法に改正・名称変更）が制定され、望まない妊娠に対する人工妊娠中絶が合法化された。

昭和27（1952）年には優生保護法改正に伴い、避妊により人工的に妊娠をコントロールする「受胎調節」を指導すべく、受胎調節実地指導員制度が始まった。この制度では、認定講習を受けた助産婦・保健婦・看護婦が指導を行う。病院や保健所に勤務する看護婦や保健婦と異なり、個人の開業助産婦にとって出生減は収入減につながることとなった。さらに産ませることを生業とする助産婦の存在意義にも大きく関わるため、受胎調節へ反

発する助産婦もおり、取り組み方はそれぞれ個人で異なっていた。

この頃から人工妊娠中絶と避妊が急速に広まり、愛媛県でもそれは同様であった。愛媛県の農村の健康問題をはじめ、家族計画、共同保健計画を推進した稲葉峯雄氏は、昭和30（1955）年頃の愛媛の農村漁村において行われた人工妊娠中絶について、「信じられない多くの悲惨な事実がありました<sup>2</sup>」と頻繁な中絶回数や短期間での中絶などの実情に衝撃を受けている。人工妊娠中絶によるリスクやダメージから母体を守るため、保健婦や看護婦とともに助産婦も受胎調節指導に奮闘した。

また出産の場所も自宅分娩から病院や診療所などの施設内分娩へと移り、医師が取り扱う分娩も増加する。昭和30（1955）年に13.1%だった愛媛県内での施設内分娩は、昭和36（1961）年には施設内分娩が56.0%、施設外分娩の44.0%に対して初めて上回った<sup>3</sup>。施設内分娩の増加は、家庭へ出張する開業助産婦にとっては生業が縮小していくことを意味していた。

平成14（2002）年には保健婦助産婦看護婦法が保健師助産師看護師法と改められ、それに伴い助産婦は助産師の名称に変更され、現在に至る。

本目録に採録した助産師資料は、大正から昭和時代に愛媛県で産婆・助産婦として働いた3名が残した資料及び三間町（現在の宇和島市三間町）母子健康センター関係資料である。

## 2 浅川静助産師関係資料(受入番号4253・4692)の概要

### 2-1 浅川静氏の略歴

昭和48（1973）年作成の履歴書（文書1-23）及び家族からの聞き取り調査によると、浅川氏は明治28（1895）年に今治市で生まれ、今治市第一小学校を卒業し、今治市内のタオル工場で働いていた。大分県別府市の病院<sup>4</sup>において看護婦の見習いとして働き始め、大正10（1921）年4月に宮崎県で産婆学説試験に合格し（図版1 文書3-1）、5月に大分県で産婆試験に合格した。（図版2 文書3-2）その後、同年9月に今治市に戻り、産婆を開業した。今治市では先輩の産婆へ弟子入りし、数年経験を積んだのちその地盤を受け継いだという。大正13

(1924)年に結婚のため西宇和郡川之石町(現在の八幡浜市川之石)に転居し開業、昭和17(1942)年には八幡浜市へ転居した。戦争中は「救護隊いうんですかね、空襲警報が出るとそこへ詰めて待機しとかないけんかったらしい」と助産に加えて救護活動も行っていた様子を浅川氏の家族は語った。「戦時中は意外とお産が軽かったんですって。みんな食べないから。赤ちゃんが小さくってそのかわり、小さいから病気とかしやすくて。その時の赤ちゃんは体が弱いわ」と戦時下の妊産婦と新生児の様子を語っていたそうである。

昭和31(1956)年に受胎調節実地指導員を委嘱され(図版11 文書3-9)、昭和36(1961)年には新生児妊産婦の保健指導員も委嘱された。助産についても昭和29(1954)年7月から昭和39(1964)年7月まで10年間に及ぶ長期間、社団法人日本助産婦会愛媛県支部八幡浜地区長を務めた。昭和56(1981)年、新生児訪問指導員及び妊産婦訪問指導員を退職し(文書4-12)、同年宇和島市へ転居した。85歳で宇和島市に転居してからも、逆子や授乳の相談で八幡浜市から浅川氏を訪ねてくる女性もあった。地域の助産婦業の発展と母子保健の充実のために尽くし、平成3(1991)年に亡くなった。

## 2-2 器具

訪問バッグをはじめ、浅川氏が助産師の業務に用いた器具、薬品などの「モノ」である。

訪問バッグは革製の黒い手提げカバンで、中に様々な道具や薬品を入れて持ち歩いた。妊婦健診の際に使用する聴診器や胎児の心音を聞くトラウベ、骨盤計、蛋白尿試験セット、出張分娩の際には、臍帯剪刀やコッヘルなどの器具、消毒用のトレイ、臍の緒をくくる紐や綿入れを収納した。産後の訪問には、体重測定用のバネばかりやベビーパウダー、浣腸用の注射器などを持ち運んだ。

軽度の会陰裂傷の手当に使用したクレンメ(図版8 器具22)や出産祝いに用いたのか携帯用の国旗も残されている。

このほか、受胎調節指導に関連して、ペッサリーも収録する。浅川氏は昭和31(1956)年に八幡浜市保健所より受胎調節実地指導員に委嘱され、荻野式やペッサリーなどの避妊具を使った避妊法を指導した。

## 2-3 写真

赤ちゃんコンクールや健康優良赤ちゃんの表彰式の写真3点で、赤ちゃんを抱いた母親達とともに浅川氏が写っている。健康優良児を目指す母親は、母親学級で学び助産婦のアドバイスを参考に育児に取り組んだ。大三島町(現在の今治市大三島)で働いていた大正12(1923)年生まれ助産師によると、「地域ごとにわたしが、赤ちゃん検診を実施しても、始めは理由をつけて検診をしに来なかったのですが、やがて、関心も高まり、みんな来てくれるようになりました。年に1回赤ちゃんの健康優良児の表彰などもするのです。体重、身長などを測って嘱託のお医者さんが決めるのです。みなさん、健康優良児に表彰されたいもので、離乳食などに力を入れました。それだけ指導のしがいがあったわけです<sup>5)</sup>」と健康優良児の表彰と助産婦との関わりについても発言しており、母子保健指導は助産婦の大切な業務の一つであった。

八西(八幡浜市・西宇和郡)地区助産婦総会の記念写真では、昭和42(1967)年度は19名、昭和53(1978)年度は6名の助産婦が収まっておりその一人として浅川氏も写っている。

その他、撮影年代および場所が不明だが、金だらいで赤ちゃんを沐浴させている写真(表紙写真6)が残っており、浅川氏の片頬には笑みが浮かんでいる。

## 2-4 文書

### 2-4-1 「産婆記録」ほか

助産師業務に関連するカルテや診察記録を収録する。今治開業時代の産婆記録(図版3 文書1-1)や往診控などの資料により妊婦健診や助産、産後のケアの内容と変遷を知ることができる。

また浅川氏は受胎調節指導について日本通運株式会社八幡浜営業所から委託され、社員の世帯を家庭訪問し、指導の上、避妊具や薬品を頒布した。資料紹介した「八幡浜地区指導員日誌(委託)」(図版13 文書1-4)は日本通運社員の家族を対象に昭和37(1962)年6月から昭和40(1965)年3月まで受胎調節指導した活動を記録し日本通運へ提出した日誌である。その詳細については2-4-6で後述する。

ノート類は教科書や講義をまとめたもの(文書

1-5、1-9) と、受胎調節の指導記録(文書1-6、1-7、1-8)がある。後者にはコンドームや避妊用ゼリーの配布と残数が記録されており、指導状況が記録されている。個人名と住所も記載されているため、取り扱いにあたりプライバシー保護に関する注意が必要であるが、助産婦が受胎調節指導をどのように行ったか、その実態を知ることができる大変貴重な資料である。

## 2-4-2 名簿

名簿類は7点収録している。浅川氏は昭和29(1954)年7月から昭和39(1964)年7月まで10年間に及ぶ長期間、日本助産婦会愛媛県支部八幡浜地区長を務めたことから、古い名簿も廃棄せずに保存されており、名簿には書き込みが残されている。

名簿類から作成した健康保険産婆数と日本助産婦会員数、受胎調節指導員数の愛媛県内の地区毎の変遷をまとめたものが表1となる。

昭和7(1932)年から昭和54(1979)年までの愛媛県全体での就業助産婦数の詳しい変遷については、当館『研究紀要』第21号の「愛媛県の母子健康センターのあゆみ」(松井2016)31頁の表5を参照頂きたい。表5によれば、昭和24(1949)年に免許を有する助産婦は1,392名と多いものの、そのうち実際に業務を行っている就業助産婦は748名である。昭和40(1965)年頃までは600~800名いた助産婦は、昭和41(1966)年の794名から昭和42(1967)年には388名と半減する。

昭和31(1956)年12月31日現在の愛媛県の就業助産婦数は814名、そのうち日本助産婦会員数は635名となっており会員構成率は78.0%で、全国平均72.7%より少し高く、全国の助産婦の大半が日本助産婦会へ加入していた<sup>6</sup>。

昭和54(1979)年の名簿では愛媛県助産婦会員は○、受胎調節指導員協会員は△の印が氏名の前に記載されている。この名簿からは受胎調節指導員ではない助産婦会員が確認できるが、その理由として、分娩介助を仕事としてきた助産婦の中には、出生減に助力する受胎調節に反発する女性もいたことがあげられる。浅川氏が75歳であった昭和45(1970)年には受胎調節指導員の名簿に名前が記載されているが、84歳となった昭和54(1979)年の名簿では高齢のためか名前の前には○だけ記載され

ている。

## 2-4-3 証書

証書として、産婆試験の合格証書や、優生保護法第15条第1項<sup>7</sup>の規定による受胎調節の実地指導の指定証(図版6 文書3-10)などが大切に保管されていた。

昭和27(1952)年に受胎調節実地指導員制度が誕生し、これにより助産婦や保健婦、看護婦は認定講習を受けて受胎調節実地指導員となり、避妊指導を行うことを国や民間企業から要請された。浅川氏も昭和28(1953)年に受胎調節実地指導員認定講習会に参加し、修了証(図版10 文書3-8)を得ており、その後昭和31(1956)年に八幡浜保健所長より受胎調節実地指導員を委嘱されている(図版11 文書3-9)。

## 2-4-4 通知

愛媛県産婆会や愛媛県警察部からの助産手当に関する通知、八幡浜保健所からの新生児訪問指導の依頼通知などを収録する。

健康保険において産婦が受け取る「助産手当」は、昭和2(1927)年からは現金給付(20円)もしくは現物給付(産院に収容して実際に助産の手当てを受ける)であり、前者が多かった。その後昭和7(1932)年からは保険産婆による現物給付(実際の助産の手当て)に加えて現金給付(10円)が原則となり、大きく変化した<sup>8</sup>。浅川氏をはじめとした産婆は、その対応に苦慮したのか、助産手当の手続き改正に関する通知や記事が複数残されている。

## 2-4-5 書籍

浅川氏が関係した団体のプログラムや図書、母親教室のテキストやパンフレットなどを収録する。

『母親教室—助産指導の栞—』(文書5-9)は連合国軍最高司令官総司令部(GHQ)公衆衛生福祉局(PHW)看護課の助産婦担当官エニード・マチソンが、当時のアメリカ合衆国の助産学や母子保健のテキストを元にモデル講義をしたときの記録である。妊娠中から出産や育児について助産婦から学び妊婦同士で交流する母親学級は、マチソンによるモデル学級からスタートした。

表 1 健康保険産婆・日本助産婦会会員・受胎調節指導員数の変遷

昭和7(1932)年		昭和31(1956)年		昭和45(1970)年		昭和45(1970)年		年代不明				昭和54(1979)年					
地区名	産婆数	日本助産婦会愛媛県支部会員名簿		日本助産婦会愛媛県支部会員名簿		愛媛県受胎調節指導員協会会員名簿		地区名	地区名	愛媛県助産婦会 会員数	受胎調節指導員兼ねる助産婦 会員数	地区名	愛媛県助産婦会 会員数	受胎調節指導員兼ねる助産婦 会員数	地区名	愛媛県助産婦会 会員数	受胎調節指導員兼ねる助産婦 会員数
		地区名	会員数	地区名	会員数	保健所管内	会員数										
宇摩郡	22	宇摩地区	34	宇摩地区	17	三島保健所	17	宇摩地区	11	14	10	宇摩地区	10	9	7		
新居郡	43	新居浜地区	49	新居浜地区	26	新居浜保健所	35	新居浜地区	18	27	16	新居浜地区	16	22	13		
周桑郡	17	壬生川地区	31	壬生川地区	12	壬生川保健所	12	東予地区	13	12	12	東予地区	11	10	11		
		西条地区	21	西条地区	10	西条保健所	13	西条地区	7	10	7	西条地区	6	8	6		
越智郡	28	今治地区	91	今治地区	24	今治保健所	35	今治地区	21	31	20	今治地区	11	20	10		
今治市	31																
温泉郡	28	北温地区	14	北温地区	6			北温地区									
		三津地区	33	松山地区	57	松山保健所	82	松山地区	64	84	32	松山地区	58	32	0		
松山市	50	松山地区	89														
伊予郡	21	伊予地区	41	伊予地区	14	伊予保健所	25	伊予地区	10	23	9	伊予地区	0	18	0		
上浮穴郡	3	上浮穴地区	19	上浮穴地区	7	上浮穴保健所	5	久万地区	0	5	0	上浮穴地区	0	4	0		
喜多郡	23	喜多地区	15														
		大洲地区	27	大洲地区	21	大洲保健所	30	大洲地区	15	24	15	大洲地区	12	10	10		
西宇和郡	30	八幡浜地区	50	八幡浜地区	25	八幡浜保健所	22	八幡浜地区	22	18	9	八幡浜地区	18	21	9		
東宇和郡 (野村町含む)	16	東宇和地区	15	東宇和地区	6	宇和保健所	12	宇和地区	6	10	5	東宇和地区	7	10	6		
		野村地区	14	野村地区	5	野村保健所	16	野村地区	4	9	4						
北宇和郡	10	宇和島地区	68	宇和島地区	28	宇和島保健所	26	宇和島地区	18	18	18	宇和島地区	16	18	15		
宇和島市	23																
南宇和郡	0	南宇和地区	29	南宇和地区	16	御荘保健所	21	御庄地区	8	13	8	南宇和地区	6	11	6		
合計	345	合計	640	合計	274	合計	351	合計	217	298	165	合計	171	193	93		

「健康保険関係者名簿」(昭和7年)「日本助産婦会愛媛県支部会員名簿」(昭和31年及び昭和45年)「愛媛県受胎調節指導員協会名簿」(昭和45年)「愛媛県助産婦会愛媛県受胎調節指導員協会  
会員名簿」(昭和54年)「会員名簿」(年代不明)より作成

## 2-4-6 「八幡浜地区指導員日誌(委託)」について

戦後、助産婦や保健婦は自治体や企業からの委託を受けて各家庭へ訪問し、家族計画のための受胎調節実地指導を行った。本資料は、浅川氏が日本通運株式会社八幡浜営業所より委託され、職員の各家庭を訪問指導した記録日誌である。

日本通運をはじめ、民間企業が家族計画に着手したのは、昭和28(1953)年頃からで、日本鋼管、常磐炭鉱等が最初の企業としてあげられる。昭和33(1958)年に家族計画を実施中または実施決定済み企業は44社となりその内訳は表2のとおりであり、■が日本通運である。

昭和33(1958)年に、日立造船神奈川工場、日本通運、東武鉄道、日本精工、日本軽金属、某製作所、日本ビクター、鉄道弘済会の8社に行った調査<sup>9</sup>によれば、家族計画を行う根拠として「受胎調節指導により人工妊娠中絶を減らし、母体保護と従業員家族の生活を守る」、「不必要に子供の増えることから起こる経済的、肉体的圧迫から、主婦の負担を軽減し、一般教養を高める」という一般的な理由に加え、「家庭生活の不安から解放されることにより、職場における生産能率の増進と安定」があげられている。

日本通運ではさらに「経済的には出産に伴う諸費用、子女の扶養費、教育費を削減して、各家庭生活を安定させることが必要だ<sup>10</sup>」と付け加えている。

日本通運八幡浜営業所の家族計画は、上期計画が4月～9月、下期計画は10月～翌年3月までとして年に2回実施し、3ヶ月に1回の割合で個人指導を行うとしていた。基本的には、集団指導と個人指導がある。担当地区で班を編成し、まず集団指導を八幡浜保健所を会場として2～10名の参加者に向けて講義を行った。おそらく集団指導では「グループのしおり 明るい暮しと楽しい話し合い」(図版14 文書5-21)や「わが家の生活設計」(図版15 文書5-22)がテキストに使われたと推察される。講義内容として「子供の産み方の工夫。家族の者全部が健康で人間らしい生活をするための受胎調節の技術はむつかしくない。本人が油断せずなまけず正確に実行すれば100%成功する。」(昭和37年6月11日)と浅川氏は記録している。

個人指導は、事前に「家族計画個人指導につい

ての依頼葉書」(図版16 文書1-19)を使用して対象世帯へ訪問日時を知らせておく。日本通運株式会社松山支店家族計画担当係からの依頼の文面は以下のとおり。

### 家族計画個人指導について(依頼)

上記について下記の日に実地指導員が参上しますからよろしく願います。

なお当日はお宅以外にお宅の近辺3、4軒を訪問の予定ですから一寸した外出の場合はお隣にそのむね伝言頂きましたら当日もう一度参上いたします

終日ご不在の場合、またはご都合の悪いときはご主人を通じ必ず所属店所窓口担当係まで連絡願います

訪問日 月 日 時ごろ

依頼葉書を送るのは実地指導員の役目のようであり、浅川氏の手元にも100枚近い未使用の依頼葉書が残されていた。

日誌を見ると、浅川氏の担当は33世帯で、1日に1～4世帯のペースで訪問している。

徒歩とバスで移動をしており、対象者の在宅時を狙ったお昼時や夕方に訪問するも、食事の支度などで忙しくほとんど話が出来ないこともあった。

「21日午後4時30分頃一度訪問したが夕食の支度のため帰る。23日は午後2時頃にお伺いした。」(昭和37年8月23日)

それぞれの家へ訪問し、各家庭の事情に合わせて相談・指導を行っていた。日誌からは、年齢や家族構成について話を聞き、親身になって相談のり、必要な避妊方法を提案し、避妊器具を頒布していた様子がわかる。

取り扱っている器具薬品は、荻野式に必要な体温計とコンドーム(スキン)、エフピーやペッサリーはゴム製のドーム状の避妊具であり、適したサイズや装着方法については指導が必要であった。エフピー、ペッサリー等の避妊具の表裏に塗る避妊ゼリーも取り扱った。錠剤の殺精子剤であ

表2 人口問題研究会の指導にかかる家族計画実施中または実施決定済み企業体一覧(昭和33年3月時点発足順)

番号	会社名	発足年	実施事業所・工場	実施世帯数 (単位1,000)
1	日本鋼管	昭和28年	川崎・鶴見・新潟・富山各製鉄所、子安工場	16
2	常磐炭鉱	昭和28年	盤城・茨城各鉱業所	8
3	東芝電気	昭和30年	全国15工場	6
4	日本軽金属	昭和30年	清水・蒲原各工場	1.3
5	日立造船	昭和30年	川崎・桜島・築港(以上大阪)、向島、因島各工場	5
6	トヨタ自動車	昭和30年	挙母地区	2.5
7	日本陶器	昭和30年	名古屋地区	0.5
8	本州製紙	昭和30年	江戸川・富士・岩淵(以上静岡)、名古屋、中津	1.5
9	富士電機	昭和30年	川崎工場	0.5
10	三井鉱山	昭和30年	美唄・砂川・芦別(以上北海道)、田川、三池、山野(以上九州)各鉱業所	15
11	東武鉄道	昭和31年	東京、埼玉、栃木、群馬に亘る12地区	5
12	荏原製作所	昭和31年	東京、川崎地区	0.4
13	昭和電工	昭和31年	川崎工場	0.6
14	日本国有鉄道	昭和31年	全国28管理局	12
15	雄別炭鉱	昭和31年	雄別・尺別・茂尻各鉱業所	1.2
16	日立製作所	昭和31年	日立・多賀・戸塚各工場	1.5
17	名古屋鉄道	昭和31年	名古屋地区	0.5
18	日本碍子	昭和31年	名古屋	0.2
19	中部電力	昭和31年	名古屋、岐阜地区	1
20	麻生産業	昭和31年	飯塚地区	1
21	東京急行	昭和31年	東京地区	0.3
22	播磨造船	昭和32年	相生工場	1.5
23	日本精工	昭和32年	玉川、藤沢各工場	0.6
24	石川島重工業	昭和32年	東京3工場	1
25	東洋高圧工業	昭和32年	砂川(北海道)工業所	1.3
26	日本鉱業	昭和32年	青森及び静岡地区	0.5
27	富士製鉄	昭和32年	室蘭製鉄、釜石製鉄所	5
28	日本通運	昭和32年	全国25地域	20
29	新日本窒素	昭和32年	水俣	0.5
30	京阪神急行	昭和32年	大阪	1
31	電電公社	昭和33年	全国各地	6
32	三菱鉱業	昭和33年	北海道及び九州	15
33	日本ビクター	昭和33年	横浜	0.3
34	日本無線	昭和33年	東京	0.5
35	京王帝都	昭和33年	東京	0.5
36	十条製紙	昭和33年	全国7工場	3
37	鉄道弘済会	昭和33年	東京地区	未定
38	秩父セメント	昭和33年	秩父工場	未定
39	三菱レイヨン	昭和33年	大竹工場	未定
40	日産自動車	昭和33年	横浜工場	未定
41	住友金属工業	昭和33年	大阪、吹田工場	未定
42	住友化学	昭和33年	大阪工場	未定
43	日本航空	昭和33年	東京	未定
44	日清紡績	昭和33年	東京、埼玉	未定
合計	44社			136.7

「企業体における家族計画のすすめ方—人口問題研究会の指導方針から—」『旬刊福利厚生』6月28日(240) 労務研究所1951 p8より作成

るサンプーンは、携帯に便利だが錠剤であるため溶けるのに時間がかかった。

指導の目的の一つでもあるこれら器具薬品の頒布は、対象者からは喜ばれた様子がうかがえる。

「器具を買いに行くのはやはり気まりが悪いので訪問を喜んで下さった。」(昭和37年8月20日)

器具薬品の代金は現金で直接預かることもあるが、大半は浅川氏の日誌をもとに後日購入家庭の給与から差し引かれた。預かった現金は日誌とともに日本通運八幡浜営業所へ渡している。

1世帯あたりの個人指導料金は、昭和37(1962)年9月は50円、昭和38(1963)年7月から昭和40(1965)年2月までは70円と微々たるものであった。企業ではなく自治体の例ではあるが、東京都の品川保健所における訪問指導料は昭和38(1963)年が70円と同額であるが、昭和39(1964)～昭和40(1965)年は100円と値上がりしている。また自治体からの委託事業では昭和52(1977)年度から不在時にも指導料の半額ほどの手当が支給されるようになったが<sup>11</sup>、浅川氏は不在の世帯分の指導料も日本通運より支給されている。

訪問すると、対象者の現在の状況と今後の希望等を聞き、必要な器具を頒布した後、日誌に印をもらう。時にはなかなか印をもらえず「印をもらうのに長く待」つ事もあった。(昭和37年12月15日)訪問して相談を受ける内容は避妊方法にとどまらず、多岐にわたっている。

「男子3人女子1人あるのでそろそろ調節の必要があるので色々話す。荻野式等は集団指導の時に云ってあるので話がしやすい。スキンを差し上げた。」(昭和37年8月3日)

「妊娠9か月であった。入院分娩をせられるのでその準備や心構えの注意をした。」(昭和37年7月27日)

避妊により人工的に妊娠をコントロールする「受胎調節」の指導ではあるが、避妊方法だけではなく、妊婦に対しては妊娠中の栄養やつわりの手当、出産の準備について話し、出産後は母乳やミ

ルクの与え方から離乳食について指導した記録も多く確認できる。

訪問で受ける相談とその対応は妊娠出産に留まることはなかった。

「二女は絵の天才らしく賞状を沢山に貰っていた。お産に行った事があるので世間話をして帰る。」(昭和37年7月15日)

「初めてのお子さんが股関節脱臼で長らく苦勞したので早くから調節をしていたが、其後身体も弱く3年前に不妊手術を受けていた。新居浜から今治迄、長期間子供を連れて医師の元に通われたお話を聞いて同情した。」(昭和37年8月4日)

「姑さんが未だ55才と云うのに治る見込みのない病気になって居られるので、お気の毒に思う。」(昭和37年8月20日)

「一番下の子供さんが言語が少しわかりにくいと心配して居られたので、一度医師に診てもらう様勧める。」(昭和38年7月11日)

「10月より身体の調子が悪くて医師に診てもらって居られた。お話を聞くと更年期障害らしく栄養の事や無理をなさらぬ様話して帰る。」(昭和38年12月14日)

「本人は留守でおばあさんと話す。足にかゆいものが出来て困って居られた。手当てについて、孫の事等話す。」(昭和37年12月15日)

以上のように、子どもの成長や更年期の悩み、介護の苦勞にも耳を傾け、対象者の女性とその家族の事情に通じており信頼関係をはぐくんできたことがわかる。その信頼が受胎調節というセンシティブな相談や指導を可能にした。本資料は地方において助産婦が行ってきた受胎調節指導事業の実態を明らかにする貴重な資料である。ただし、個人情報があるため取扱いに注意する必要がある。

### 3 福島キクエ助産師関連資料(受入番号4279)の概要

#### 3-1 福島キクエ氏の略歴

福島キクエ氏は大正4(1915)年に西宇和郡四ツ浜村大久(現在の伊方町大久)で生まれ育った。兵庫県神戸市の看護学校を卒業後、神戸市内の病院で働き、結婚のため昭和14(1939)年に帰郷した。その後、教師である夫の転勤に伴い地元の大久(おおく)に戻ってきたのを機に、昭和28(1953)年に産婆として開業した。大久からは山道を歩いて峠を越え、田部(たぶ)や神崎(こうざき)にある妊産婦の家へ通ったという。生まれてからは一週間毎日新生児のお湯浴びせ(沐浴)のために通うこともよくあることだった。昭和31(1956)年、夫の転勤に伴い西宇和郡三瓶町に移り、地元の三瓶町母子健康センターを利用しながら助産婦として働いた。三瓶町母子健康センターでは、開業助産婦それぞれが自分の担当する妊婦を連れて、出産時に施設を使用するスタイルであった。三瓶町に移ってから自転車を手に入れた福島氏は、山間部の嶋山(しぎやま)や和泉までまわっていたという。福島氏の家族は「うちの母は新参者ですから。人様の領域は荒らせませんので」とその苦勞を語る。

また、受胎調節についても指導を行っており、家族も器具を配布する手伝いをしていたと以下のように語った。

「戸別訪問ですね。近所の方だったんですけど、『これ、誰それさんところ届けといて』という感じで。何を持って行かされたかもその時はわからなくて。ただ差し出したら、向こうの相手の方が恥ずかしそうな顔をして受け取られたので、子供心にちょっと雰囲気だけは覚えておったんですよ。大人になって、なんだ、あの時もっていったのはこれか、と」

受胎調節は、それまでの助産の仕事と逆ではあるけれど、女性の体を守る大事な仕事であるということは福島氏も話していたようで、「やっぱり望まれない子どもを生んではいけないとかってことをチラチラ言っていたことがありましたからね。(中略)自分たちの商売としては成り立たないことも同時にやっていたんですよ」と家族は語った。

昭和40(1965)年、自身が49歳の時に夫を亡くし

たことから、地元の三瓶病院で助産婦として勤務する。その後、高齢になり退職の意向を何度か病院に申し出たが、その度に引き止められるほど頼りにされていた。70歳の時に「アンプルの文字が見えなくなったので危険を伴うからもう辞めます」と、体力の衰えを理由に退職し、平成19(2007)年に92歳で亡くなった。

#### 3-2 資料

資料は、助産婦の業務で使用した道具類である。筒状の腹巻と体重計(バネばかりと風袋 図版19 整理番号2)、ピンセット4点(図版17 整理番号3~6)と曲剪刀、綿棒2点と綿入れ、ガラス棒、クリップと爪切り(図版18 整理番号10)が残されている。『みとり』は、福島氏が「三瓶病院婦長」としてエッセイを寄稿した八幡浜医師会附属准看護学校卒業記念誌である。福島氏は、これから看護の道へ進んでいく卒業生に向けたメッセージとして、難産で生まれてきた女の子への助産婦としての思いをつづっている。

### 4 宇都宮笑助産師関係資料(受入番号4299)の概要

#### 4-1 宇都宮笑氏の略歴

宇都宮笑氏は大正4(1915)年に西宇和郡三瓶村下泊(現在の西予市三瓶町下泊)で生まれ、尋常小学校卒業後に八幡浜市内の病院で勤務しながら産婆の資格を取得した。昭和25(1950)年頃には三瓶町で助産婦として活躍しており、三瓶町でも周木や長早の海岸部まで受け持ちの妊婦を診察するため自転車で通っていた。平成4(1992)年に亡くなった。

#### 4-2 資料(図版20)

革製の訪問バッグは手提げと肩掛けと併用できるタイプで、聴診器、血圧計、トラウベ、妊娠暦、分娩道具(臍帯剪刀2点、コッヘル2点)を収納する布製ケース、金属製ケース、小児用体温計、赤ちゃんの体重測定用のバネばかりと風袋(赤ちゃんを包む布でバネばかりに吊るして使用する)、臍の乾燥剤が収納されていた。

妊娠暦は「桃缶」とも呼ばれ、桃のマークの入った計算道具である。小さなステンレスの缶の蓋を

回しながら、片方の日付にもう片方の妊娠周期の目盛りを合わせると分娩予定日が算出できる。

## 5 三間町母子健康センター関係資料(受入番号4276)の概要

### 5-1 三間町母子健康センターとは

母子健康センターとは、昭和32(1957)年、厚生省児童局母子衛生課の掛け声のもと、起案・予算化された母子保健推進施設である。「助産部門」と「保健指導部門」から成り立つ母子健康センターは日本各地で設置された。

愛媛県では、昭和33(1958)年4月に開所した大三島町(現在の今治市)母子健康センターを皮切りに、昭和42(1967)年3月開所の南宇和(現在の愛南町)共立母子健康センターまで、県内19箇所に開設され、地域の母子保健の充実に貢献してきた。職員である助産婦については、「母子保健センター設置要綱」において、専任の管理者である助産婦の「選任については地域内助産婦の協力を得られるよう格別の配慮をすること<sup>12)</sup>とあるだけで、具体的な勤務関係や勤務体制は設置者である市町村に任されていた。

助産婦と母子健康センターの関係は大きく分けて専任制とオープン制があった。市町村に雇用されて専門職員として勤務する専任助産婦と、地域の開業助産婦が自分の担当する妊婦について健診や出産の際に母子健康センターに連れてきてセンター内で出産を行う方法である。福島氏と宇都宮氏が利用していた三瓶町母子健康センターは後者であり、三間町母子健康センターは前者である。昭和45(1970)年時点の日本助産婦会愛媛県支部会員名簿によれば、住所を三間の「母子センター」と記載している助産婦は2名確認できるが、宇都宮氏、福島氏とも住所に三瓶町母子センターの記載はない。

三間町母子健康センターは、昭和35(1960)年5月に県内4番目の母子健康センターとして三間町迫目(はざめ)に開所した。

「三間町母子健康センターのあゆみとこれからの母子保健について」(整理番号1)のレポートによると、三間町母子健康センターの目的は「病院などの助産施設のない市町村での入院分娩の便宜

をはかる」ことと「地域での母子保健の増進をはかる」とあり、業務内容として「助産、産後の母子看護、妊産婦及び乳幼児の保健指導、受胎調節指導、栄養指導、母親学級、母子保健に関する集団指導集会」があげられている。地元の安心感と出産費用の安価さが特に喜ばれ、出産までの検診や産後の母子訪問、産前産後の栄養指導や離乳食の講座などを重ねることで、妊産婦と助産婦、そして母子健康センターは信頼関係を築いていった。

宇和島中央保健所勤務であった稲葉峯雄氏は、母子保健の指導のためセンターにしばしば赴き、随想「ある日の母子センターにて」(整理番号5)の中で、産後の育児グループ集会での母親達をサポートする助産婦の様子を温かい筆致で記録している。

「センターの助産婦さんは、ここでもグループ誕生の助産に黙々と動いておられる。ストーブをもやしたり、泣きやまぬ赤ん坊をだいて廊下に出たり、おしめをかえたりして、お母さんたちの話を助けている。」

三間町母子健康センターの詳細については、当館『研究紀要』第21号の「愛媛県の母子健康センターのあゆみ」(松井2016)を参照いただきたい。

## 6 おわりに

浅川静氏、福島キクエ氏、宇都宮笑氏の3人の助産師が残した医療器具と文書、そして三間町母子健康センターに残された文書は、時代とともに助産師に求められる役割や業務が変遷してきた実態をあらわすように多岐にわたるものの、助産師業務を網羅するレベルまではいかない<sup>13)</sup>。

また多くの先行研究や現役の助産師の助けを得たものの、助産師という医療専門職に関する資料であることから、器具の用途などで不明な部分もあり、今後さらなる調査が必要である。

複数の転居を経て助産師を引退してもこれらの資料を手元に置いていたことは、3人が助産師という仕事に「誇り」を感じていたのではなかろうか。とりわけ、3人いずれも手元に置いていた体重計は、新生児の誕生と成長を記録する道具で、浅川氏と宇都宮氏が残っていた分娩道具コッヘル

は、臍帯切断の際に使用する重要な道具であり、助産師という仕事を象徴するような道具ともいえる。現役の助産師が「今でも車の中に手袋とコッヘル、クリップ2本は常備している。何かあった時のために」と泰然と話してくれたように、助産師の心構えと誇りが見てとれる。

体重計やコッヘルをはじめ、本資料目録に収められた資料は、大正から昭和にかけての愛媛県内の助産師の歴史に加えて、妊娠出産や育児、受胎調節事業や母子保健行政の移り変わりを考察するうえで重要な資料である。

(文責 松井 寿)

註

<sup>1</sup> 愛媛県史編さん委員会編1987『愛媛県史 民俗下』p 289

<sup>2</sup> 稲葉峯雄1973『生きる - 愛媛の農村からの報告』岩波書店 p 7

<sup>3</sup> 松井寿2016「愛媛県の母子健康センターのあゆみ」『愛媛県歴史文化博物館研究紀要』第21号 愛媛県歴史文化博物館 p 21

<sup>4</sup> 浅川氏家族のお話に寄れば「温研」と呼ばれていたが、「温泉治療学研究所」の設立は昭和6(1931)年である。同じく別府で温泉療法を行っていた陸軍病院(明治25年設立)もしくは海軍病院(大正14年設立)の可能性が考えられる。

<sup>5</sup> 愛媛県生涯学習センター1998『愛媛の暮らし 平成10年度地域文化調査報告書』p 180

<sup>6</sup> 高木雅文氏が作成した表「助産婦数・日本助産婦会会員数・保健婦数・看護婦数・医師数」の愛媛県の数字による。2012「戦後初期日本における受胎調節指導 - 職能団体機関誌にみられる助産婦の意識・実践を中心に -」『福岡大学人文論叢』第44巻第2号 福岡大学 p 5

<sup>7</sup> 優生保護法第15条

女子に対して厚生大臣が指定する避妊用の器具を使用する受胎調節の実地指導は、医師の外は、都

道府県知事の指定を受けた者でなければ業として行ってはならない。但し、子宮腔内に避妊用の器具を挿入する行為は、医師でなければ業として行ってはならない。

<sup>8</sup> 小暮かおり「医療保険制度における出産の取扱いの歴史の変遷 令和6年11月13日第5回 妊娠・出産・産後における妊産婦等の支援策等に関する検討会」厚生労働省 mhiw.go.jp(参照 2025- 2- 3)

<sup>9</sup> 1951「企業体における家族計画のすすめ方 - 人口問題研究会の指導方針から -」『旬刊福利厚生』6月28日(240)労務研究所 p 9

<sup>10</sup> 註9「企業体における家族計画のすすめかた - 人口問題研究会の指導方針から -」p 12

<sup>11</sup> 伊賀みどり2018「問宮うら氏のライフヒストリーを通してみる出産文化の変容」『国立歴史民俗博物館資料目録12助産院・助産師資料目録』p201

<sup>12</sup> 全国母子健康センター連合会編1964『母子健康センター要覧』全国母子健康センター p71

<sup>13</sup> 国立歴史民俗博物館が所蔵する、問宮うら助産院資料は、開業助産婦の業務に関する資料が一括して保管されており、質・量ともに第一級の資料である。

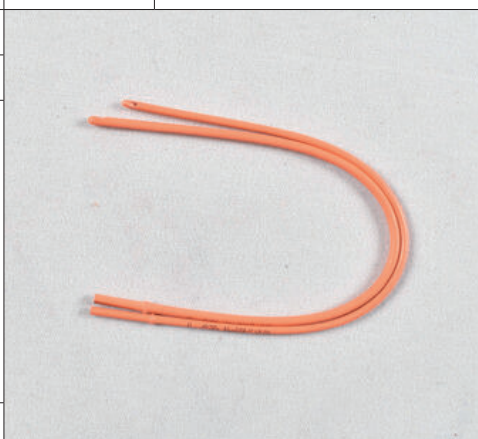
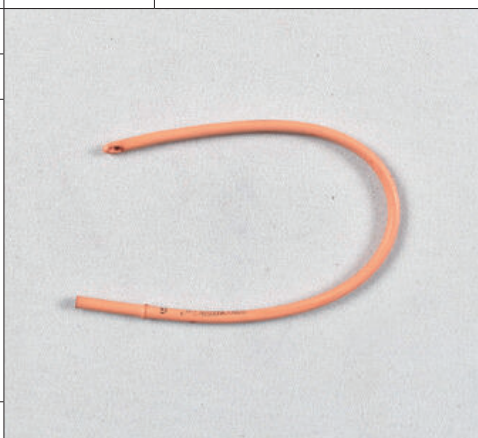
# 資料目録

---

浅川静助産師資料(器具)

1	名 称	訪問バッグ	数量	1点	資料番号	1122000023	
	年 代						
	寸法 (cm)	縦14.5、横30.2、高さ19					
	解 説	革製。仕事に使用した手提げ鞆。鍵付き。					
	受入番号	4253					
2	名 称	トラウベ(聴診器)	数量	1点	資料番号		1122000024
年 代							
寸法 (cm)	直径4、高さ16.3						
解 説	赤色。胎児の心音を聞くための聴診器。広がっている方を母体に、もう片方を耳に当てて使用し、携帯に便利であった。妊婦の腹部にぴったりと隙間なくあてないと心音がうまく聞こえず、コツが必要であった。						
受入番号	4253						
3	名 称	トラウベ(聴診器)	数量	1点		資料番号	1122000025
年 代							
寸法 (cm)	直径4.8、高さ16						
解 説	黒色。						
受入番号	4253						
4	名 称	骨盤計	数量	1点		資料番号	1122000026
年 代							
寸法 (cm)	縦29、横18.5						
解 説	左右の角状の部分を計測場所に挟むようにあてて、中央部分の目盛りを読み取る。小柄な体格の妊婦の場合、骨盤の大きさをはかり、経膈分娩が可能かどうかを助産師が判断する。						
受入番号	4253						

5	名 称	余語式気管カテーテル	数量	1 箱	資料番号	1122000027
	年 代					
	寸法 (cm)	縦18.6、横6、高さ2.8				
	解 説	ガラス・ゴム製。東京いわしやイトウ商会販売。カテーテルは、羊水が新生児の口や鼻に入った場合に気管吸引を行う際に使用する。法量は箱の大きさ。				
	受入番号	4253				
6	名 称	カテーテル	数量	1 点	資料番号	1122000028
	年 代					
	寸法 (cm)	直径0.5、長さ33.2				
	解 説	ゴム製。カテーテルに「9 "The Health" I.R.CO」の文字あり。医療器具 (器具23 資料番号1122000049) に結合して使用する。カテーテルは切断して、新生児や乳児のガスがたまった時に使用することもあった。				
	受入番号	4253				
7	名 称	カテーテル	数量	2 点	資料番号	1122000029
	年 代					
	寸法 (cm)	直径0.3と直径0.4、長さ33.6				
	解 説	ゴム製。カテーテルに「6 "The Health" I.R.CO」「7 "The Health" I.R.CO」の文字あり。妊婦の尿が膀胱にたまると胎児の頭がおりてこないため導尿用として使用した。カテーテルは消毒をして何度も使用した。				
	受入番号	4253				
8	名 称	注射器	数量	1 点	資料番号	1122000030
	年 代					
	寸法 (cm)	縦3.3、横15.5、高さ3.2				
	解 説	ケースは金属製で注射器はガラス製。先端部が丸く少し膨らんでおり、新生児の浣腸用。紙でくるまれている。法量はケースの大きさ。				
	受入番号	4253				



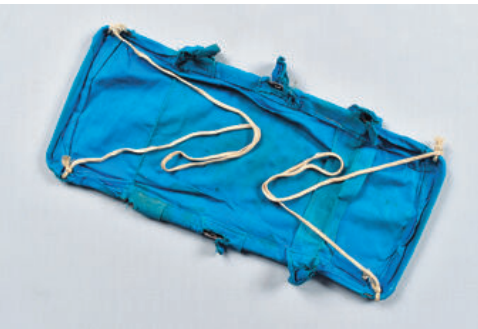

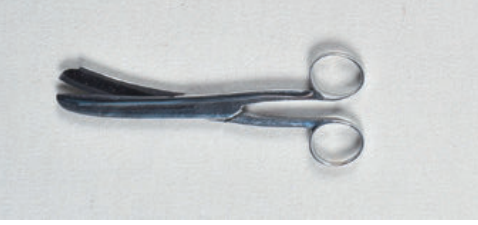
9	名 称	30cc注射器	数量	1点	資料番号	1122000031
	年 代					
	寸法 (cm)	縦44、横21、高さ3.7				
	解 説	ケースは金属製で注射器はガラス製。「Enema Syringe」「TOP REG. TRADE MARK」の文字あり。先端部が丸く少し膨らんでおり浣腸用。布でくるまれている。法量はケースの大きさ。				
	受入番号	4253				
10	名 称	トレイ	数量	1点	資料番号	1122000032
	年 代					
	寸法 (cm)	縦13.8、横22、高さ5.8				
	解 説	ステンレス製で紐・コッヘル・臍帯剪刀・クレンメなどを入れて煮沸消毒する。				
	受入番号	4253				
11	名 称	紐	数量	1束	資料番号	1122000033
	年 代					
	寸法 (cm)	幅0.2、長さ38.5				
	解 説	真田紐とも呼称し、臍の緒をくくる。				
	受入番号	4253				
12	名 称	紐	数量	1式	資料番号	1122000034
	年 代					
	寸法 (cm)	幅0.4、長さ26.5				
	解 説	缶(縦10.5、横7.5、高さ2.8)に「ビフ」と書かれている。真田紐とも呼称し、臍の緒をくくる。				
	受入番号	4253				

13	名 称	ベビーパウダー	数量	1 点	資料番号	1122000035
	年 代					
	寸法 (cm)	直径8.3、高さ4.5				
	解 説	中身入り。「セイセイベビースター。スキントール。80g。80円。」と記載。セイセイ薬品工業株式会社販売。				
受入番号	4253					
14	名 称	綿入れ	数量	1 点	資料番号	1122000036
	年 代					
	寸法 (cm)	縦6、横7.5、高さ1.1				
	解 説	金属製で綿入り。消毒用アルコール綿を入れ、乾燥しないよう蓋を閉めて使用した。				
受入番号	4253					
15	名 称	硝酸銀点眼液 新生児用	数量	1 箱	資料番号	1122000037
	年 代					
	寸法 (cm)	縦6.7、横12.6、高さ1.4				
	解 説	スポイトはゴムとガラス製。「1% 0.5cc × 10。伊藤実製薬所販売。」と記載。クレード法とって、淋菌予防の為出産後すぐに新生児へ点眼し使用した。胎児が産道を通る時目に細菌が入ってしまうことがあり、特に淋菌による新生児淋菌性結膜炎(新生児膿漏眼)は失明の可能性があるので、目の感染症を予防するのに用いた。法量は箱の大きさ。				
受入番号	4253					
16	名 称	蛋白尿試験セット	数量	1 箱	資料番号	1122000038
	年 代					
	寸法 (cm)	縦7、横12、高さ2				
	解 説	箱のみ。「内容 20%スルホサリチール酸 5 cc 試験管 2本 採尿管 1本」と記載。伊藤製薬所販売。採尿管に妊婦の尿を採り、薬品を垂らして色の変化をみることで、妊娠中毒症などの確認を検診の度に行った。				
受入番号	4253					

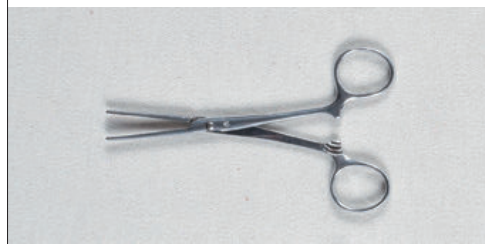
17	名 称	リマロール	数量	1箱	資料番号	1122000039							
	年 代												
	寸法 (cm)	縦4.5、横4.5、高さ6.4											
	解 説	箱のみ。50g。成分・応用・用法が記載され、湿疹・汗疹・擦過傷に効いた。伊藤製薬所販売。アクリノールという成分の消毒薬で、ガーゼなどに浸して湿布して患部にあてると炎症が治まる。出産後に股の部分が赤く腫れた時などに使った。本資料は50gと少量で、外陰部の腫れに使用する場合は足りない。訪問の際に母親のおできなどの治療用として大切に使用していた可能性あり。											
	受入番号	4253											
													
							18	名 称	理想リゾール容器	数量	1箱	資料番号	1122000040
								年 代					
								寸法 (cm)	縦3.3、横4.5、高さ3.2				
								解 説	箱のみ。「東京製 リゾール容器」と記載。消毒液として使用した。				
受入番号	4253												
													
							19	名 称	強力ローマ液	数量	1箱	資料番号	1122000041
								年 代					
								寸法 (cm)	縦8.6、横3.6、高さ3.5				
								解 説	箱のみ。「新殺菌剤クロルヘキシジン配合 強力たむし・水虫治療薬」と記載。25mlで180円。エスエス製薬が販売。消毒のための傷薬として使用した。				
受入番号	4253												
													
							20	名 称	日本薬局方 オリブ油	数量	1箱	資料番号	1122000042
								年 代					
								寸法 (cm)	縦6.9、横3.2、高さ3				
								解 説	箱のみ。20ml。高田製薬株式会社販売。浣腸の際の潤滑油として使用した。				
受入番号	4253												
													

21	名 称	携帯国旗	数量	1 組	資料番号	1122000047
	年 代					
	寸法 (cm)	棒の長さ41.4、旗縦19.5、横33.5				
	解 説	袋付きで折り畳み可能の日の丸の旗である。				
	受入番号	4253				
						
22	名 称	クレンメ	数量	1 箱	資料番号	1122000048
	年 代					
	寸法 (cm)	縦6.7、横11.7、高さ2.4				
	解 説	金属製のピンで連なって箱に収納されている。会陰裂傷の治療に用いる器具で、傷を縫合するかわりにクレンメで3～5箇所、傷の大きさに合わせて縦に止める。3～5日後に傷の状態を見て治っていたらクレンメを外す。クレンメ自体は消毒して何回も使用する。縫合が必要なほどの傷ではない会陰裂傷や、もしくは医師が不在の際に使用した。法量は箱の大きさ。				
	受入番号	4253				
						
23	名 称	医療器具	数量	1 点	資料番号	1122000049
	年 代					
	寸法 (cm)	長さ20.4、ガラス管の直径1.7				
	解 説	ゴム・ガラス製。カテーテル(器具6 資料番号1122000028)をつけて使用。新生児の初期嘔吐で胃洗浄を行う際に使用した。羊水が鼻や口に入った時に、鼻や喉にカテーテルを入れ、もう片方のガラス管に口をつけて吸い出す。容器が羊水で一杯になるとカテーテルを外して捨てる。				
	受入番号	4253				
						
24	名 称	医療器具	数量	1 点	資料番号	1122000050
	年 代					
	寸法 (cm)	長さ12、プラスチック管の直径0.8				
	解 説	ゴム・プラスチック製。ゴム部分とねじ式で着脱可能である。新生児や乳幼児の鼻水を吸うスポイトか。				
	受入番号	4253				
						

25	名 称	聴診器(部品)	数量	1 点	資料番号	1122000051
	年 代					
	寸法 (cm)	長さ28				
	解 説	黒色でプラスチック製。先端部が破損している。				
受入番号	4253					
26	名 称	聴診器	数量	1 点	資料番号	1122000052
	年 代					
	寸法 (cm)					
	解 説	黒色でプラスチック製の部品とゴム製の管で構成されており、管は破損し切れている。新生児や乳児の心音を聞くために使う。				
受入番号	4253					
27	名 称	試験管	数量	1 点	資料番号	1122000096
	年 代					
	寸法 (cm)	直径1.7、長さ9.3				
	解 説	蛋白尿試験セット(器具16 資料番号1122000038)で使用する試験管か?				
受入番号	4253					
28	名 称	バネばかり	数量	1 点	資料番号	1122000097
	年 代					
	寸法 (cm)	長さ35.6				
	解 説	10kgまで測定可能で「東亜製」とある。				
受入番号	4253					

29	名 称	風袋	数量	1 点	資料番号	1122000098
	年 代					
	寸法 (cm)	縦21、横47.8				
	解 説	青い布製で周囲に金属製の枠があり、折畳みが可能。布部分に乳児をのせ、バネばかりを紐にかけて体重を測定する。				
受入番号	4253					
30	名 称	分娩器具入れ	数量	1 点	資料番号	1122000099
	年 代					
	寸法 (cm)	縦29.5、横49.2				
	解 説	分娩器具一式(器具31~35 資料番号1122000100~11220000104)を収納するための布製の入れ物。収納時はスナップを留め、紐を結ぶ。布地には血のしみがあり、紐は補修跡あり。				
受入番号	4253					
31	名 称	分娩器具 臍帯剪刀	数量	1 点	資料番号	1122000100
	年 代					
	寸法 (cm)	長さ15.8				
	解 説	臍帯を切るはさみ。内側に「13」と彫ってある。蝶番が外れて二つに分解できる。				
受入番号	4253					
32	名 称	分娩器具 ハサミ	数量	1 点	資料番号	1122000101
	年 代					
	寸法 (cm)	長さ12.8				
	解 説	鍔あり。内側に「KM」の刻印あり。				
受入番号	4253					

33	名 称	分娩器具 コッヘル	数量	1 点	資料番号	1122000102
	年 代					
	寸法 (cm)	長さ14.5				
	解 説	止血鉗子とも呼ばれる。臍帯2か所をコッヘルではさみ、止血する。外側に桜のマーク、内側に「40」と彫ってある。無鉤で蝶番が外れて二つに分解できる。				
	受入番号	4253				
34	名 称	分娩器具 コッヘル	数量	1 点	資料番号	1122000103
	年 代					
	寸法 (cm)	長さ14.3				
	解 説	外側に桜のマーク、内側に「12」と彫ってある。無鉤で蝶番が外れて二つに分解できる。				
	受入番号	4253				
35	名 称	分娩器具 コッヘル	数量	1 点	資料番号	1122000104
	年 代					
	寸法 (cm)	長さ16.7				
	解 説	外側に「USA STAINLESS STEEL」と彫ってある。先が鉤状になっており、卵膜を破って破水させることができる。				
	受入番号	4253				
36	名 称	避妊薬ロスゼリー	数量	1 箱	資料番号	1122000043
	年 代					
	寸法 (cm)	縦6.6、横13、高さ3.2				
	解 説	箱のみ。「30 g。吉富製薬株式会社販売。注入器 1 個付き。」と記載。ゼリー状の避妊薬。性交前に膈内に薬品を入れて、その薬品で精子を殺す。注入器で膈内へ入れたゼリーは、立ち上がると外部に流れ出るため効果は薄かった。				
	受入番号	4253				





37	名 称	F P 75mm	数量	1 箱	資料番号	1122000044
	年 代					
	寸法 (cm)	縦9、横9、高さ2				
	解 説	FPペッサリーで紙箱入り。社団法人日本家族計画協会が発売。FPは元々「家族計画」を意味する英語の「Family Plan」の単語から来ている。膣から挿入して子宮口をふさぐドーム状の避妊用具。サイズの目安として直径75mmは「3回経産婦」とされた。法量は箱の大きさ。				
受入番号	4253					
38	名 称	F P 80mm	数量	1 箱	資料番号	1122000045
	年 代					
	寸法 (cm)	縦9、横9、高さ2				
	解 説	FPペッサリーで紙箱入り。受胎調節実地指導員等によるサイズ測定の必要がある。80mmサイズは4回以上の経産婦用とされていた。畳んで膣内に挿入すると中で広がり子宮口にかぶせて使用する。使用の際には、表裏に避妊ゼリーを塗り、性行為の直前ではなく数時間前、入浴時などに挿入する。性行為後、6～7時間後に取り出し、水で洗って乾燥して使用し再利用した。当館聞き取り調査によると、「『コンドームを使って』と言わなくていい。自分で自分の体を管理出来る素晴らしいと思った」と女性には喜ばれた。法量は箱の大きさ。				
受入番号	4253					
39	名 称	Simon Cap	数量	1 点	資料番号	1122000046
	年 代					
	寸法 (cm)	直径6.7、高さ2.7				
	解 説	シモンキャップペッサリー。直径5.7で高さは2.4。ゴム製でプラスチックのケースと説明書一枚付き。シモンBC(産制)研究所が一個220円で発売。説明書(縦8.5、横2.8)には「最新式受胎調節妊娠予防具」と謳い、「ケースに入れて大切に保管すれば三四か年は使用できます」と記載されている。当館聞き取り調査によれば、小さいため子宮口にぴたっと入れる必要があり使用法が難しかったとのことである。法量はケースの大きさ。				
受入番号	4253					



## 浅川静助産師関係資料(写真)

1	名 称	写真(昭和30年度第4回赤ちゃんコンクール表彰記念)	数量	1枚	資料番号	2322000050
	年 代	昭和30(1955)年				
	寸法(cm)	縦11.2、横15.8				
	解 説	昭和30年度第4回赤ちゃんコンクール表彰の記念写真。前列右から6番目が浅川氏。				
	受入番号	4692				
2	名 称	写真(昭和33年春期健康優良赤ちゃん表彰式)	数量	1枚	資料番号	2322000051
	年 代	昭和33(1958)年				
	寸法(cm)	縦11.2、横15.5				
	解 説	昭和33年春期健康優良赤ちゃん表彰式記念写真。前列左から2番目が浅川氏。				
	受入番号	4692				
3	名 称	写真(昭和35年度春期健康優良赤ちゃん表彰式)	数量	1枚	資料番号	2322000052
	年 代	昭和35(1960)年				
	寸法(cm)	縦10.8、横15.3				
	解 説	昭和35年5月に愛媛県八幡浜保健所前で撮影された春期健康優良赤ちゃん表彰式の記念写真。前から2列目右から3番目が浅川氏。				
	受入番号	4692				
4	名 称	写真(昭和42年度八西助産婦総会)	数量	1枚	資料番号	1122000065
	年 代	昭和42(1967)年				
	寸法(cm)	縦15.5、横10.8				
	解 説	昭和42年度の八幡浜・西宇和郡に在籍する助産婦の総会記念写真。19名の助産婦が写っている。				
	受入番号	4253				

5	名 称	写真(昭和53年度八西助産婦総会)	数量	1 枚	資料番号	2322000032
	年 代	昭和53(1978)年				
	寸法(cm)	縦12.7、横17.7				
	解 説	昭和53年度の八幡浜・西宇和郡の助産婦総会記念写真。昭和53年10月20日に八幡浜市立病院前で撮影され、6名の助産婦が写っている。				
受入番号	4692					
6	名 称	写真(赤ちゃんの沐浴)	数量	1 枚	資料番号	2322000031
	年 代					
	寸法(cm)	縦11.5、横8.2				
	解 説	金属製のタライを使った新生児の沐浴風景。沐浴させている浅川氏の横顔には笑みが浮かんでいる。				
受入番号	4692					

浅川静助産師関係資料(文書)

番号	資料番号	名称	年代	数量	寸法(cm)	解説	受入番号
1-1	1122000053 ★	産婆記録	大正12 (1923)～13 (1924)年	1冊	縦23、 横16.3	取扱受嘱年月日によると大正12年91名、13年97名、合計188名の記録。188頁。住所は今治市。	4253
1-2	1122000054 ★	往診控	昭和43 (1968)～ 44(1969)年	1冊	縦15.5、 横14	合計97名の記録。194頁。住所は八幡浜市。	4253
1-3	1122000055 ★	往診控	昭和50 (1975)～53 (1978)年	1冊	縦14.8、 横10.5	昭和50年1名、51年11名、52年2名、53年1名、合計15名の記録。100頁。住所は八幡浜市。	4253
1-4	2322000059 ★	八幡浜区指導員日誌(委託)	昭和37 (1962)～ 40(1965)年	1冊	縦25.6、 横18.1	発行：日本通運株式会社 昭和37年6月11日～昭和40年3月23日に浅川氏が作成した受胎調節実施指導の日誌。受胎調節実施指導および器具薬品の配布状況を記録し、定期的に日本通運八幡浜営業所に提出していた。取り扱う器具薬品はベッサリー、コンドーム、ゼリー、錠剤、体温計の5種類。	4692
1-5	2322000038	ノート	昭和22 (1947)～ 29(1954)年	1冊	縦21.0、 横15.0	入院分娩と家庭分娩それぞれの長所と短所など、浅川氏がまとめたノート。	4692
1-6	2322000211 ★	ノート	昭和47 (1972)～ 55(1980)年	1冊	縦21.2、 横15.6	コンドームとゼリーの配布と残数を記録したノート。その他家族計画を指導した人数も記録されている。ノートの後半は「昭和49年度家族計画名簿」として氏名・年齢・結婚時の年齢・住所・職業・健康状態・子どもの性別と数が表になっている。	4692
1-7	2322000209 ★	ノート	昭和51 (1976)～54 (1979)年頃	1冊	縦20.8、 横14.7	氏名・年齢・住所・電話番号が記載されている。住所は八幡浜市で年代は20～70代と幅広い。	4692
1-8	2322000210 ★	ノート		1冊	縦20.7、 横14.7	夫婦の氏名・年齢・結婚時の年齢・子どもの性別と人数・住所・職業・健康状態が記載されている。住所は八幡浜市。	4692
1-9	2322000060	「異常妊娠及び其取扱い法」		1冊	縦24.0、 横16.3	「異常妊娠及び其取扱い法」など浅川氏が教科書等を写した和綴じのもの。	4692
1-10	2322000035	往診控 助産婦		1冊	縦15、 横10.5	未使用のもの。二穴で紐で綴じてある。項目は診察原簿第一号、表面は住所氏名、年齢、職業、妊娠回数、既往分娩、最終月経、分娩予定、疾病、分娩日、初生児(性、身長、体重)、摘要。裏面は横軸に4ヶ月～10ヶ月、縦の項目には、栄養、血液梅毒反応、血圧、尿蛋白、浮腫、貧血、子宮底の高さ、腹囲、胎位、骨盤(棘間径、楯間径、斜径、大転子径、測結、外結)。	4692
1-11	2322000062	妊娠届出書		2枚	縦29.3、 横18.2	未使用のもの。妊娠した者が八幡浜市長宛てに提出する届出書の書式。氏名、本籍柄、居住地、妊娠月数、医師又は助産婦の診断又は保健指導を受けたときはその氏名、性病及び結核に関する健康診断の有無を記載する欄がある。	4692
1-12	2322000039	妊産婦訪問指導報告書		25枚	縦25.1、 横17.9	未使用のもの。訪問指導員が保健所長宛てに提出する報告書の書式。妊産婦及び家族の情報、訪問指導を必要とした理由、指導依頼者、主治医の要請のあった場合その内容、訪問指導の記録を記載する欄がある。	4692

番号	資料番号	名称	年代	数量	寸法(cm)	解説	受入番号
1-13	2322000203	出生報告書はがき		1枚	縦9.0、 横13.9	未使用のもの。はがき形式の出生報告書で、医師・助産婦が押印して提出する。「出生地の市区町村役場の戸籍係へ三日内に報告すること。この報告とは別に父母等は必ず出生届をすること」と注意事項が記載されている。	4692
1-14	2322000212	出産証明書		24枚	縦17.6、 横25.5	未使用のもの。住所・父氏名(生年月日)・妊産婦氏名(生年月日)・出産時男女別・出産の場所・出産の年月日・助産婦名を記載する項目のある証明書一式。表紙と台紙付き。	4692
1-15	1122000082	請求書		36枚	縦12.6、 横8.7	未使用のもの。初診料/診察料/往診料/分娩料/沐浴料の項目が印刷済みの請求書。	4253
1-16	1122000083	助産手当報酬請求書		2枚	縦24.5、 横16.5	未使用のもの。金額/被保険者記号番号/被保険者住所氏名/分娩予定年月日/分娩年月日/生産又ハ死産/正規、早産流産/別/初診年月日/完了年月日/男女別/胎盤数/胎児数/点眼年月日/体重/助産手当の内容(診察/解除/沐浴/後処置の種別回数金額備考)を愛媛県知事に請求する助産手当報酬請求書の書式。	4253
1-17	2322000204	新生児訪問指導報告書		7枚	縦25.6、 横18	未使用のもの。新生児訪問指導員が保健所長宛てに提出する報告書の書式。新生児及び保護者の情報、訪問指導を必要とした理由、指導依頼者、主治医の要請のあった場合その内容、訪問指導の記録を記載する欄がある。妊産婦訪問指導報告書(文書1-12 資料番号232200039)と類似。	4692
1-18	2322000198	家族計画訪問指導報告書		8枚	縦25.4、 横17.9	未使用のもの。家族計画訪問指導員が八幡浜市長宛に提出する訪問指導報告書の書式。「本月中の被指導者実人員及び指導延件数」は、一夫婦を一人と換算し、「被保護者」と「その他の低所得者」の区分に分かれ、「前月以前からの継続指導者」と「本月新規に指導した者」の人数と、延べ指導件数を書く欄がある。指導の際に渡した器具・薬品の状況について「コンドーム」「ゼリー」「ペッサリー」「サンプーン」の受入数と配布数を記録する。	4692
1-19	1122000087	家族計画個人指導についての依頼葉書		98枚	縦14.5、 横9	未使用のもの。実地指導員の訪問日時を知らせる葉書。発行：日本通運株式会社松山支店家族計画担当係。	4253
1-20	2322000206	日本家族協会行注文葉書		1枚	縦14.7、 横10	ゼリーやスキン、婦人体温計等の商品が注文できる葉書。注文者の所属として「保健婦、助産婦、看護婦、医師、地区組織、企業体、教員、看護学生、その他」に○印をつける欄がある。	4692
1-21	2322000063	昭和52年度別余会 計報告	昭和52 (1977)年	1枚	縦17.7、 横23.1	収入の部は、繰越金、ピフ利益、腹帯利益、支出の部は役員集会費や香典、弁当代や「横山会長受賞お祝い」の項目があり、助産婦会八幡浜地区の会計か？	4692
1-22	1122000070 ★	履歴書		1枚	縦25.2、 横17.7	昭和31(1956)年以降に作成された履歴書。	4253
1-23	1122000071 ★	履歴書	昭和48 (1973)年	1枚	縦25、 横18	昭和48年6月18日に作成した履歴書。	4253

番号	資料番号	名称	年代	数量	寸法(cm)	解説	受入番号
2-1	1122000066 ★	健康保険関係関係 者名簿	昭和7 (1932)年	1冊	縦11、 横15.5	発行：愛媛県警察部健康保険課 健康保 険産婆の名簿欄の西宇和郡川之石町に浅 川氏の名前あり。	4253
2-2	1122000067 ★	日本助産婦会愛媛 県支部会員名簿	昭和31 (1956)年	2冊	縦18.5、 横13.5	浅川氏は日本助産婦会愛媛支部の八幡浜 地区長を務めており、表紙と裏表紙に氏 名と住所が記載。八幡浜地区の頁には名 前を赤線で消したり、黒字で名前を加筆 している。福島キクエ氏、宇都宮笑氏の 名前も確認できる。	4253
2-3	2322000029 ★	日本助産婦会愛媛 県支部会員名簿	昭和31 (1956)年	1冊	縦18.5、 横13.4	文書2-2 資料番号1122000067と同一資料。	4692
2-4	2322000214 ★	日本助産婦会愛媛 県支部会員名簿	昭和45 (1970)年	1冊	縦21、 横15.2	社団法人日本助産婦会愛媛県支部会員の 地区別人員が記載。八幡浜地区に浅川氏 と福島氏の名前が確認できる。	4692
2-5	1122000068 ★	愛媛県受胎調節指 導員協会会員名簿	昭和45 (1970)年	1冊	縦21.7、 横15.3	愛媛県受胎調節指導員協会会員の地区別 人員が記載。浅川氏の名前が記載されて いる。	4253
2-6	1122000069 ★	愛媛県助産婦会 愛媛県受胎調節指 導員協会会員名簿	昭和54 (1979)年	2冊	縦21、 横14.5	愛媛県助産婦会員は○、愛媛県受胎調節 指導員協会会員は△の印が名前の前に記 されている。浅川氏と宇都宮氏が○のみ。	4253
2-7	2322000213 ★	会員名簿		1冊	縦20.9、 横15.2	愛媛県助産婦会員は○、愛媛県受胎調節 指導員協会会員は△の印が名前の前に記 されている。浅川氏、宇都宮氏、福島氏 は○のみ。	4692
3-1	1122000056	産婆学説試験合格 証明書	大正10 (1921)年	1枚	縦27.2、 横39.3	産婆学説試験合格証明書。発行：宮崎県 知事、合格者：愛媛県 三原静。	4253
3-2	1122000057	産婆試験合格ノ証	大正10 (1921)年	1枚	縦27.2、 横19.1	産婆試験合格書。発行：大分県知事、合 格者：愛媛県 三原静。	4253
3-3	1122000058	修得証書	昭和6 (1931)年	1枚	縦24.5、 横34	西宇和郡第二回婦人講座の修得証書 発 行：愛媛県学務部長、修得者：浅川シズカ。	4253
3-4	1122000059	会員証	昭和10 (1935)年	1枚	縦20.3、 横30.3	愛国婦人会の通常会員証 発行：愛国婦 人会長、宛先：浅川静。	4253
3-5	1122000062	助産婦免許証	昭和28 (1953)年	1枚	縦26、 横36.7	発行：厚生大臣、厚生省医務局長、宛先： 浅川静。	4253
3-6	1122000076	助産婦免許申請に ついて	昭和28 (1953)年	1枚	縦12.7、 横12.3	助産婦免許申請について交付を知らせる 通知書。発行：八幡浜保健所長、宛名： 浅川静。	4253
3-7	1122000064	紙筒		1点	直径4.6、 長さ36.2	筒の外側に「祝 社団法人日本助産婦会」 と記載。中には「産婆試験合格証書」のメ モ入り。	4253
3-8	1122000061	修了証	昭和28 (1953)年	1枚	縦26.2、 横18	受胎調節実地指導員認定講習会の修了 証。発行：日本看護協会愛媛県支部長、 修了者：浅川静。	4253
3-9	1122000063	愛媛県受胎調節実 地指導員委嘱証	昭和31 (1956)年	1枚	縦26、 横18.1	愛媛県受胎調節実施指導員の委嘱証。発 行：八幡浜保健所長、宛先：浅川静	4253

番号	資料番号	名称	年代	数量	寸法(cm)	解説	受入番号
3-10	1122000060	指定証	昭和31 (1956)年	1枚	縦9.1、 横11.1	優生保護法第15条第1項の規定による指定を受けた者であることを証する。発行：愛媛県知事、指定者：浅川静。	4253
4-1	1122000090	協定書	昭和7 (1932)年	1枚	縦38.8、 横54.2	東洋紡績健康保険組合と愛媛県産婆組合との協定書(初診料30銭、診察料1円分娩取扱料2円50銭 沐浴及び産後の処置金1円50銭)	4253
4-2	1122000091	契約書	昭和7 (1932)年	1枚	縦27、 横39	倉紡健康保険組合と愛媛県産婆組合との契約書で分娩料は5円と記載。	4253
4-3	1122000072	助産手当に関する 手続き改正の件	昭和7 (1932)年	1枚	縦24.1、 横16.7	「助産手当に関する手続き改正の件」と題する通知書。発行：愛媛県産婆会長 宛先：健康保険産婆各位	4253
4-4	1122000073	助産手当ヲ受クル 場合ノ手續改正ニ 関スル件	昭和7 (1932)年	1枚	縦27、 横19.7	「助産手当ヲ受クル場合ノ手續改正ニ関スル件」と題する通知書。発行：愛媛県警察部。	4253
4-5	1122000075	助産手当受給資格 証明書ヲ提出セシ メ	昭和8 (1933)年	1枚	縦24、 横33	助産手当受給資格証明書の提出を求める内容。発行：愛媛県産婆会、宛先：健康保険産婆各位。	4253
4-6	2322000199	助産所に関する資 金の貸付けについ て	昭和37 (1962)年	1枚	縦25.4、 横18.0	医療金融公庫総裁から日本助産婦会会長あての通知。	4692
4-7	2322000064	保健所業務概況	昭和39 (1964)年	1冊	縦18.2、 横25.4	発行：愛媛県八幡浜保健所。昭和39年2月26日付けの保健所業務についての概況。八幡浜保健所運営協議会委員名簿に「浅川静 八幡浜西宇和助産婦会会長」と記載あり。	4692
4-8	2322000201	母子保健研修セン ター設立趣意書	昭和50 (1975)年	1枚	縦18.0、 横25.7	母子保健研修センター設立発起人代表：横山フク。	4692
4-9	2322000061	新生児訪問指導に ついて依頼	昭和54 (1979)年	1枚	縦18、 横25.7	発行：八幡浜中央保健所長 宛先：浅川静助産婦 出生報告のあった家庭について訪問指導を依頼した通知。	4692
4-10	2322000033	家族計画実施指導 員報償費内訳 浅川静分(コピー)	昭和54 (1979)年	1枚	縦18.3、 横25.5	発行：環境衛生課長、宛先：浅川静 昭和54年度上半期の家族計画実地指導員報償費の内訳。単価が¥710。 4月：43件、30,530円、 5月：44件、31,240円、 6月：26件、18,460円、 7月：41件、29,110円、 8月：44件、31,240円、 9月：26件、18,460円 合計224件で159,040円の報酬費の記録。赤字で「昭和53年度繰越分¥26,980-(4月8件、5月～9月までは月6件追加しております)」と追記あり。	4692
4-11	1122000077	昭和55年医療関係 者の届出について	昭和55 (1980)年	1枚	縦25.7、 横36.4	昭和55年医療関係者の届出について提出を求める内容。発行：八幡浜中央保健所長、宛先：医療関係者各位。	4253
4-12	2322000037	新生児訪問指導員 および妊産婦訪問 指導員の解職につ いて	昭和56 (1981)年	1枚	26.0× 18.0	発行：愛媛県知事、宛名：浅川静。	4692
5-1	1122000078	愛媛県健康保険時 報第28号	昭和6 (1931)年	1枚	縦24.9、 横17.7	発行：愛媛県警察部健康保険課。健康保険助産婦規程の記事が記載。	4253

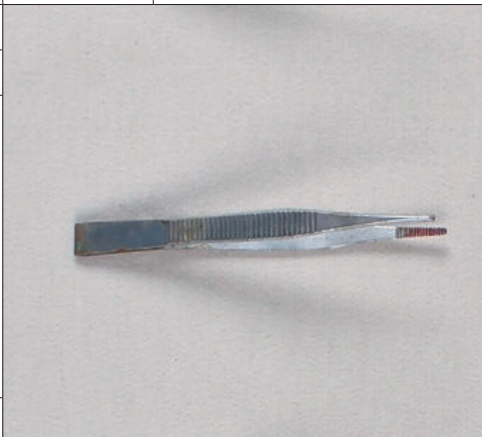
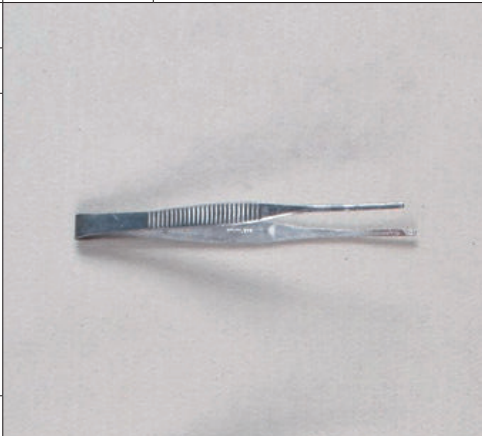
番号	資料番号	名称	年代	数量	寸法(cm)	解説	受入番号
5-2	1122000079	愛媛県健康保険時報第32号	昭和7 (1932)年	1枚	縦25、 横18	発行：愛媛県警察部健康保険課。東宇和産婆会開催、保険産婆の異動告示の記事が記載。	4253
5-3	1122000080	愛媛県健康保険時報第36号	昭和7 (1932)年	1枚	縦25.8、 横17.7	発行：愛媛県警察部健康保険課。健康保険助産規程の改正に就ての記事が記載。	4253
5-4	1122000074	昭和5年度健康保険事業要覧	昭和7 (1932)年	1枚	縦25.3、 横10.1	発行：愛媛県警察部健康保険課。保険産婆の数が251人、公設産婆の数が57人と記載されている。	4253
5-5	1122000094	『中等生理衛生学』	昭和8 (1933)年	1冊	縦20.8、 横14.5、 厚さ1.3	著者：藤田敏彦・佐武安太郎、発行：帝国書院。80銭。	4253
5-6	2322000030	『母の友』第2巻第8号	昭和13 (1938)年	1冊	縦15、 横11	発行：日本母子会	4692
5-7	1122000093	『現代生理衛生通論』	昭和13 (1938)年	1冊	縦20.8、 横14.5、 厚さ1.3	著者：林謙、発行：広文堂。80銭。	4253
5-8	1122000092	『家庭に於ける実際の看護の秘訣』	昭和14 (1939)年	1冊	縦19、 横15、 厚さ5.3	著者：築田多吉、発行：南江堂書店。2円20銭。	4253
5-9	2322000046	『母親教室－助産指導の葉－』	昭和24 (1949)年	1冊	縦18.3、 横12.7	述：E.マチソン(連合軍総司令部公衆衛生福祉部看護課)、発行：厚生省母子衛生協会。昭和24年2月にマチソン女史がモデルの母親学級を実施した際の講話内容をまとめたもの。	4692
5-10	2322000047	『母親教室』	昭和25 (1950)年	1冊	縦17.8、 横12.6	発行：愛媛県助産婦部「皆様よくおいでくださいました」から始まる、口語体で書かれた母親学級の教本。	4692
5-11	2322000042	『ぜひ必要な家庭乃葉』	昭和25 (1950)年	1冊	縦18.1、 横12.9	編集・発行：生活更生援護会本部	4692
5-12	1122000088	『家族計画読本』	昭和28 (1953)年	7冊	縦18.5、 横13	著者：阿部雄吉(愛媛県衛生部長)、発行：社団法人日本看護協会愛媛県支部	4253
5-13	2322000045	『第13回日本助産婦会学会記念プログラム』	昭和32 (1957)年	1冊	縦13.2、 横19.1	26頁。昭和32年10月2日～3日に開催された日本助産婦会学会のプログラム。開催地は香川県高松市。前日1日に理事会、終了後4日に観光コースあり。学会発表課題並びに発表者氏名の表に赤丸や数字の記載あり。日本助産婦会香川県支部会会歌も記載。	4692
5-14	1122000084	『丈夫でかわいい赤ちゃん』	昭和37 (1962)年	5冊	縦18、 横13	著者：林塩(日本看護協会会長)。発行：日本看護協会出版部。定価10円。	4253
5-15	2322000034	『丈夫でかわいい赤ちゃん』	昭和37 (1962)年	1冊	縦18、 横12	文書5-14 資料番号1122000084と同一資料。	4692
5-16	2322000049	『安全教育』	昭和37 (1962)年	1冊	縦18.2、 横12.7	著者：林塩(日本看護協会会長)、発行：日本看護協会出版部 幼児の病気やケガ、救急処置について記載。	4692
5-17	2322000055	『第3回川内町母子衛生研究大会』	昭和38 (1963)年	1冊	縦17.8、 横25.4	20頁。昭和38年4月28日に開催された第3回川内町母子衛生研究大会のプログラム。開催場所は温泉郡川内町体育館。主催は川内町、後援は松山保健所。川内町では昭和37年に川内町母子健康センターが業務を開始した。	4692

番号	資料番号	名称	年代	数量	寸法(cm)	解説	受入番号
5-18	2322000200	『家族計画指導の問題点』	昭和38 (1963)年	2冊	縦25.7、 横18.2	著者：森山豊(東大教授)。昭和38年6月22日の講座で使用されたテキスト。開催場所は県歯科医師会館(松山市堀之内)。	4692
5-19	2322000057	「昭和38年度第3回中国四国幹部助産婦講習会」	昭和38 (1963)年	1冊	縦25.7、 横18.4	発行：愛媛県衛生部・社団法人日本助産婦会・社団法人日本助産婦会愛媛県支部。昭和38年11月1日～3日にかけて開催された第3回中国四国幹部助産婦講習会のプログラム。開催場所は松山市堀之内の県歯科医師会館。	4692
5-20	2322000056	『妊娠と関係ある薬品の知識ならびに婚前教育について』	昭和38 (1963)年	1冊	縦25.5、 横17.2	著者：森山豊(東大教授)昭和38年11月2日に開催された第3回中国四国幹部助産婦講習会で使用されたテキスト。開催場所は県歯科医師会館(松山市堀之内)。裏表紙に「明治乳業株式会社提供」と記載。	4692
5-21	1122000086	『グループのしおり 明るい暮らしと楽しい話し合い』	昭和38 (1963)年	1冊	縦18、 横12	著者：青木尚雄、発行：日本通運株式会社	4253
5-22	2322000044	『わが家の生活設計』	昭和38 (1963)年	1冊	縦18.2、 横12.7	著者：藤本正夫、発行：日本通運株式会社	4692
5-23	2322000064	保健所業務概況	昭和39 (1964)年	1冊	縦18.2、 横25.4	発行：愛媛県八幡浜保健所。昭和39年2月26日付けの保健所業務についての概況。八幡浜保健所運営協議会委員名簿に「浅川静 八幡浜西宇和助産婦会会長」と記載あり	4692
5-24	1122000085	『よい子を生み育てる運動』	昭和45 (1970)年頃	1冊	縦17.7、 横12.8	昭和43年衛生統計年報によるしおり。発行：愛媛県衛生部	4253
5-25	2322000041	『これだけは知っておきたい産後の健康』	昭和45 (1970)年	1冊	縦12.6、 横18.2	著者：森山豊(日本母性保護医協会会長)、発行：社団法人日本家族計画協会。	4692
5-26	2322000065	『だれでもできる受胎調節 新しい体温法』	昭和46 (1971)年	1冊	縦14.8、 横20.9	著者：荻野博(国立公衆衛生院衛生人口学部)、発行：社団法人日本家族計画協会。定価120円	4692
5-27	1122000081	社団法人 日本助産婦会の団体交通事故傷害保険	昭和47 (1972)年	3枚	縦25.5、 横18	日本助産婦会の団体交通事故傷害保険の案内パンフレットと申込書。	4253
5-28	2322000058	昭和50年度助産婦研修会実施要領	昭和50 (1975)年	1冊	縦26.1、 横18.3	発行：愛媛県保険部医務課。昭和51年3月29日に開催された昭和50年度助産婦研修会実施要領。会場は松山市の愛媛県庁。申込み方法や演題及び講師名、当日のスケジュールが記載。	4692
5-29	2322000040	『股関節脱臼予防のための赤ちゃんの取扱方』	昭和53 (1978)年	1冊	縦25.7、 横18.3	昭和53年10月14日に看護会館を会場として社団法人日本助産婦会愛媛県支部愛媛県受胎調節指導員協会が主催した会で配布されたテキストと推察される。ホチキス止め。8頁	4692
5-30	2322000036	『56年保健指導用教材・備品のご案内』	昭和55 (1980)年	1冊	縦25.6、 横18.2	編集・発行：社団法人日本家族計画協会。34頁。申込み書付き。	4692
5-31	1122000089	カネソン搾乳・哺乳器		9枚	縦25.3、 横18.3	カラー両面刷りのチラシ。「発売元(有)セベ産科用品販売 2000円」と記載。	4253
5-32	2322000048	『お母さまのために一赤ちゃんの育て方』		1冊	縦18.3、 横12.8	発行：明治乳業株式会社。ソフトカード明治コナミルクとソフトカードL明治コナミルクの宣伝を兼ねた冊子。	4692

番号	資料番号	名 称	年代	数量	寸法(cm)	解説	受入番号
5-33	2322000053	『妊産婦のしおり』		1冊	縦17.8、 横12.6	発行：明治商事株式会社・愛媛県飲用牛乳協会。表紙に「愛媛県八幡浜保健所」の印がある。1頁目に「この資料は愛媛県衛生部公衆衛生課提供による。」と記載。明治コナミルクソフトカードの宣伝を兼ねた冊子。非売品。	4692
5-34	2322000054	『赤ちゃん対話集』		2冊	縦21.0、 横14.8	監修：馬場一雄(日本大学医学部小児科)、発行：森永乳業株式会社。「フジサワ会5160 104カメオカ薬局 愛媛県八幡浜市矢野町」の印あり。森永ドライミルクの宣伝を兼ねた冊子。	4692
5-35	2322000043	桶谷式乳房治療手技の概要(コピー)		1枚	縦25.8、 横36.3	桶谷式乳房治療の特徴や原理、注意事項について書かれたもののコピー	4692
5-36	2322000202	「保健衛生スクーリング開催要項」		1冊	縦25.9、 横18.0	A共同保健計画の必要性、B共同保健計画の基本的考え方、保健衛生スクーリング開催要項について記載。	4692
5-37	2322000205	『婦人生理と受胎調節の知識』		5冊	縦25.6、 横36.0	編集：横山フク(参議院議員・日本助産婦会長)。全国受胎調節実施指導員協議会連合会推奨とあり、「お母様方へひとこと」として「グロンサン」が薦められている。	4692
5-38	2322000207	封筒(愛媛県予防医学協会)		1点	縦9、 横12.3	財団法人愛媛県予防医学協会の封筒。未使用のもの。	4692
5-39	2322000208	封筒(日本家族計画協会)		1点	縦22.3、 横11.8	社団法人日本家族計画協会の封筒。未使用のもの。	4692
5-40	1122000095	浅川静様宛封筒		1点	縦24.5、 横9.5	愛媛県産婆会より。	4253

福島キクエ助産師関係資料

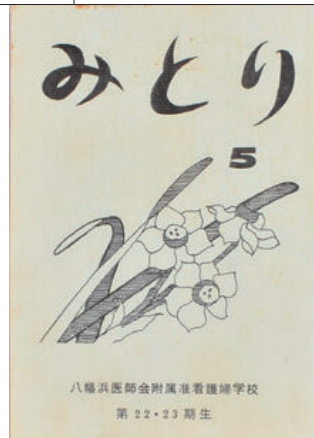
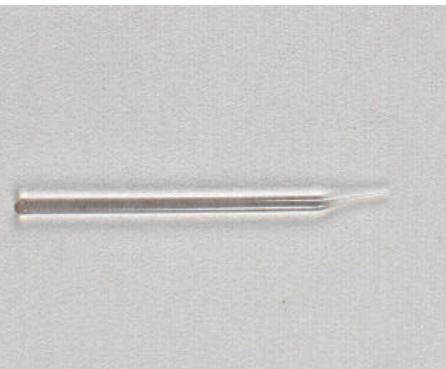
1	名 称	腹帯	数量	1 点	資料番号	1222000043
	年 代					
	寸法 (cm)	縦25、横46.8				
	解 説	筒状で伸縮性があり、腹部にくいこまないよう端がフリルになっている。乳幼児用か。				
	受入番号	4279				
2	名 称	体重計	数量	1 式	資料番号	1222000044
	年 代					
	寸法 (cm)	バネばかり長さ32.5、幅3.2、厚み2.5、風袋縦33.5、横27、収納袋縦23、横10.5				
	解 説	バネばかりは2貫、7kgまで測定可能で「東京 金井」とある。風袋は白い布製で斜めに交差した布製の紐が四隅に縫い付けてある。布に乳児をのせて、バネばかりを紐にかけて体重をはかる。収納袋に「福島」と記載あり。				
	受入番号	4279				
3	名 称	ピンセット	数量	1 点	資料番号	1222000045
	年 代					
	寸法 (cm)	縦13.4、横2.5				
	解 説	先端部が直線。				
	受入番号	4279				
4	名 称	ピンセット	数量	1 点	資料番号	1222000046
	年 代					
	寸法 (cm)	縦13.1、横3				
	解 説	先端部が直線。				
	受入番号	4279				



5	名 称	ピンセット	数量	1 点	資料番号	1222000047
	年 代					
	寸法 (cm)	縦17.2、横3				
	解 説	先端部から 8 cm湾曲している。産婦人科では使用しない形状なので耳鼻科用か。奥の方にも届きやすく取りやすいよう湾曲している。				
	受入番号	4279				
6	名 称	ピンセット	数量	1 点	資料番号	1222000048
	年 代					
	寸法 (cm)	縦12.7、横2.4				
	解 説	先端部から 1 cm湾曲している。				
	受入番号	4279				
7	名 称	曲剪刀	数量	1 点	資料番号	1222000049
	年 代					
	寸法 (cm)	縦14、横4.6				
	解 説	皮膚を傷つけないために、刃先が上向きに反っているはさみ。				
	受入番号	4279				
8	名 称	綿棒	数量	1 点	資料番号	1222000050
	年 代					
	寸法 (cm)	縦14.7、横0.5				
	解 説	金属製で持ち手がらせん状になっている。先端部に綿をつけてくるくるねじると綿棒になる。				
	受入番号	4279				

9	名 称	綿棒	数量	1 点	資料番号	1222000051
	年 代					
	寸法 (cm)	縦14.7、横0.7				
	解 説	金属製で先端部に綿をつけてくるくとねじり、綿棒として使用する。				
	受入番号	4279				
10	名 称	爪切り	数量	1 点	資料番号	1222000052
	年 代					
	寸法 (cm)	縦11.3、横5.2				
	解 説	金属製。				
	受入番号	4279				
11	名 称	綿入れ	数量	1 点	資料番号	1222000053
	年 代					
	寸法 (cm)	縦7.5、横5.5、高さ1.3				
	解 説	金属製のケースで消毒綿が入っており、ケースの蓋は二重構造になっている。表に「PRINCE」と刻印あり				
	受入番号	4279				
12	名 称	ガラス棒	数量	1 点	資料番号	1222000054
	年 代					
	寸法 (cm)	縦15.5、横0.8				
	解 説	先端部分が破損。				
	受入番号	4279				

13	名 称	ガラス棒	数量	1点	資料番号	1222000055
	年 代					
	寸法 (cm)	縦15.7、横0.8				
	解 説	先端部分が破損。				
	受入番号	4279				
14	名 称	クリップ	数量	1点	資料番号	1222000056
	年 代					
	寸法 (cm)	縦7.7、横9				
	解 説	このクリップだと血流が止まらないため、臍帯クリップではない。				
	受入番号	4279				
15	名 称	「みとり」No.5	数量	1冊	資料番号	1222000057
	年 代	昭和52(1977)年3月発行				
	寸法 (cm)	縦21.5、横15				
	解 説	発行：八幡浜医師会附属准看護婦学校。編集：第22期生、第23期生。21頁に「三瓶病院婦長 福島キクエ」の寄稿。				
	受入番号	4279				

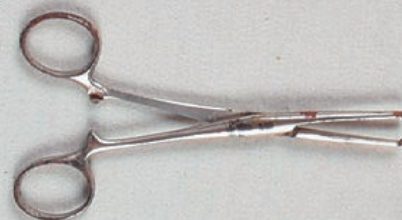
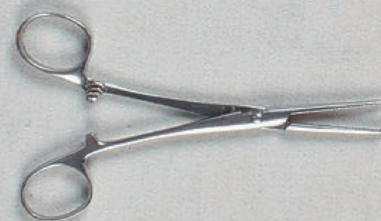


宇都宮笑助産師関係資料

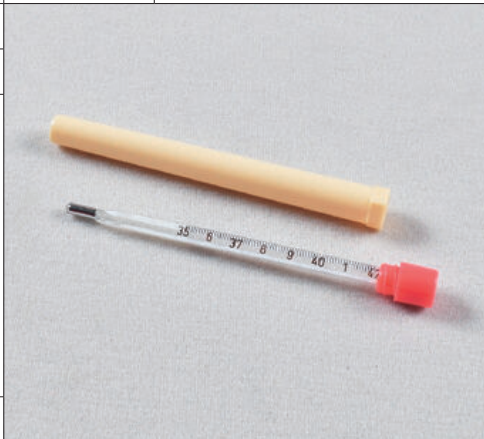
1	名 称	訪問バッグ	数量	1 点	資料番号	1222000024
	年 代					
	寸法 (cm)	縦16.5、横32.8、高さ22				
	解 説	仕事に使用した革製の手提鞆。肩かけ用の紐付き。				
	受入番号	4299				
2	名 称	標準水銀血圧計	数量	1 点	資料番号	1222000025
	年 代					
	寸法 (cm)	縦31.5、横9.5				
	解 説	日本臨牀器械工業株式会社販売「医科器械全般卸 きくち医科器械 八幡浜市大平(市立病院前)」のシール貼付。				
	受入番号	4299				
3	名 称	分娩器具入れ	数量	1 点	資料番号	1222000036
	年 代					
	寸法 (cm)	縦30.5、横44				
	解 説	臍帯剪刀やコッヘル等の分娩器具(1222000026~1222000029、1222000037)をしまっておくための布製の道具。				
	受入番号	4299				
4	名 称	分娩器具 臍帯剪刀	数量	1 点	資料番号	1222000026
	年 代					
	寸法 (cm)	長さ15.2				
	解 説	臍帯を切るはさみ。先が丸くカーブしている。外側にARIH、内側に「14」と彫られている。蝶番が外れて二つに分解できる。				
	受入番号	4299				



5	名 称	分娩器具 臍帯剪刀	数量	1 点	資料番号	1222000027
	年 代					
	寸法 (cm)	長さ14				
	解 説	臍帯を切るはさみ。先が丸くカーブしている。蝶番が外れて二つに分解できる。				
	受入番号	4299				
6	名 称	分娩器具 コッヘル	数量	1 点	資料番号	1222000028
	年 代					
	寸法 (cm)	長さ14				
	解 説	クリップとして用いる。止血鉗子ともいい、先端に鉤状の突起がついており、蝶番が外れて二つに分解できる。出産時の人工破膜(破水させる処置)にも使用できた。				
	受入番号	4299				
7	名 称	分娩器具 コッヘル	数量	1 点	資料番号	1222000029
	年 代					
	寸法 (cm)	長さ14				
	解 説	クリップとして用いる。止血鉗子ともいい、先端に鉤状の突起がついており、内側に「134」と彫られている。鍍あり。蝶番が外れて二つに分解できる。				
	受入番号	4279				
8	名 称	分娩器具 シリンダー	数量	1 点	資料番号	1222000037
	年 代					
	寸法 (cm)	直径6.1				
	解 説	円筒型のガラス製で蓋の部分はゴム製。先端部にカテーテルをつけて羊水を吸い出す。				
	受入番号	4299				



9	名 称	体温計	数量	1 点	資料番号	1222000030
	年 代					
	寸法 (cm)	長さ12.3				
	解 説	小児用の水銀体温計。				
	受入番号	4299				
10	名 称	カスト	数量	1 点	資料番号	1222000031
	年 代					
	寸法 (cm)	縦7.8、横12.5、高さ2.3				
	解 説	器具同士の接触を防ぎ、滅菌・保管できる金属製の容器。「TRADE MARK SHINSEI」と蜂のマークが記されている。丸ごと煮沸消毒できる。				
	受入番号	4299				
11	名 称	ケース	数量	1 点	資料番号	1222000032
	年 代					
	寸法 (cm)	直径6、高さ7.5				
	解 説	円形の金属製の容器で中に臍の乾燥剤が入っている。新生児の臍に乾燥剤を振った後ガーゼを貼る処置を行っていた。				
	受入番号	4299				
12	名 称	体重計	数量	1 式	資料番号	1222000033
	年 代					
	寸法 (cm)	バネばかり 長さ31、風袋縦20、横47				
	解 説	乳幼児体重測定用のバネばかりと布製の風袋。2貫、7kgまで測定可能で「大阪 大丸式手秤」と記載。布の上に乳児をのせてバネばかりを紐にかけて体重を計る。				
	受入番号	4299				



13	名 称	トラウベ	数量	1 点	資料番号	1222000034
	年 代					
	寸法 (cm)	直径最大5.5、最小3、高さ19.2				
	解 説	プラスチック製で色は白。広がった方を母体にもう片方を耳にあてて胎児の心音を聞く。				
	受入番号	4299				
14	名 称	妊娠暦				
14	年 代					
	寸法 (cm)	直径6				
	解 説	円筒型の金属製で桃のマークが入っている。側面の赤い点を最終月経日に合わせると出産予定日がわかる。「桃缶 (モモカン)」と呼ばれており、助産師の学校を卒業する際に卒業記念として全員に配られることもあった。				
	受入番号	4299				
15	名 称	聴診器	数量	1 点	資料番号	1222000058
	年 代					
	寸法 (cm)	直径2.8、長さ77.5				
	解 説	金属・ゴム製。破損あり。				
	受入番号	4299				
受入番号	4299					

三間町母子健康センター関係資料

番号	資料番号	名称	年代	数量	寸法(cm)	解説	受入番号
1	1222000038	三間町母子健康センターのあゆみとこれからの母子保健について	昭和63 (1988)年	1冊	縦18.2、 横25.7	昭和63(1988)に三間町母子健康センターで実習を行った愛媛県立公衆衛生専門学校保健婦助産婦学科(現在の愛媛県立医療技術大学)の学生2名によるレポート。詳しくは当館研究紀要第21号の「愛媛県の母子健康センターのあゆみ」を参照。	4276
2	1222000039	安産への葉	昭和55 (1980)年	1冊	縦18.2、 横25.7	吉田町立吉田病院産科によるお産のガイドブックで、「お産を間近にひかえた皆さんへ」から始まり、日常の姿勢や体操、出産の前兆などイラスト入りで案内されている。17頁。「庚申時丙月佳日」と記載されている。南予地域での助産婦同士の交流や情報交換が盛んであった。	4276
3	1222000040	当院における分娩の動向について	昭和57 (1982)年	1冊	縦21.0、 横30.6	昭和57年から過去10年程度にわたって吉田病院における分娩の以下の項目、(1)当院における分娩係数と吉田町・日本の出生数の動向(2)年度別産科異常件数(及び率)(3)年度別産科手術。処置件数(及び率)(4)年度別新生児異常について「吉田町健康保険病院」のレポート用紙において分析されている。	4276
4	1222000041	「広報みま」第259号	平成元 (1989)年 4月10日	1冊	縦21.0、 横30.6	発行：三間町。平成元年3月末で助産部門が廃止されるにともなって「特集母子健康センター(助産部門)29年のあゆみ」と題して、利用状況などが紹介されている。	4276
5	1222000042	朝の随想 ある日の母子センターにて (コピー)	平成元 (1989)年	3枚	縦36.2、 横25.7	宇和島中央保健所勤務であった稲葉峯雄氏によるエッセイ「朝の随想 ある日の母子センターにて」のコピー。センターで出産した母親の育児グループの集会に参加し保健指導した様子を紹介している。稲葉氏は「同じ月に生まれ、同じ空気や水や光の中に育てられた赤ちゃんを、その母親がくらべたてみる以上に私はすばらしい育児教育はないと思う」と述べ、とめどなく話し合う母親達や泣き止まぬ赤ん坊の世話をした母親達の交流を助ける助産婦を優しいまなざしで眺めている。	4276

母子センター

# 資料紹介

八幡浜地区指導員日誌(委託)

八幡浜地区受胎調節指導員日誌(委託)

年月日	天気	指導内容	指導時間	器具薬品目	数量	金額(円)
昭和37年 6月11日	曇り	第1班集体指導実施に出席。八幡浜保健所に於いて講義の内容 子供の産み方の工夫。家族の者全部が健康で人間らしい生活をするため受胎調節の技術はむつかしくない。本人が油断せずなまけず正確に実行すれば100%成功する。 失敗の原因等 出席者 10名	13:00～ 15:30	指導料	集	200
昭和37年 6月12日	曇り	第2班集体指導実施に出席。八幡浜保健所に於いて講義の内容 前日と同じ 出席者5名	13:00～ 15:20	指導料	集	200
昭和37年 6月13日	雨	第3班集体指導実施出席。八幡浜保健所に於いて講義の内容 前日とやや同じ 今日は大雨のためか農繁期のためか人が集まらなかった。 3日間で17名が受講された訳だが、1日ですませて貰った方が良いのではないかと思った。	13:00～ 15:40	指導料	集	200
昭和37年 6月22日	曇り 時々雨	栄養の事について子供の偏食をなおす方法、料理の仕方等、子供を不良にしない様気をつけるお話をする。	15:00～ 16:30	ゼリー50g 2 ペッサリー72.5 1	3	140
昭和37年 7月11日	晴天後 曇り	5、6年まえから受胎調節を実行して居られた。常に身体が弱いので其の事について色々話す。女子が2人あるが、奥さんの指導よろしく家庭円満に過ごして居られる。	20:00～ 20:40	ソフト 1 エフピーシルク 1	2	68
昭和37年 7月9日	晴天後 曇り	肝臓病の手当てについて食養生等受胎調節の実際等話す。	15:30～ 16:30	体温計 1 ソフト 2	3	185
		夫が奥さんのメンスを3年間記録を取って荻野式で受胎調節に成功している。指導者の方が教えられるほどで大変参考になった。	20:00～ 20:50	ソフト 1	記載なし	50
		すでに卵巣結さつをしているので調節の必要なし。	21:00～ 21:30	記載なし	記載なし	記載なし
		常に腰が痛いと言われるのでゼリーを勧めて見た。	21:40～ 22:30	サンシーセット 1 エフピーゼリー 50g 1	記載なし	142
昭和37年 7月15日	晴	大正4年10月生まれで一番下の子供が早や学校へ行って居る。年齢的に調節の必要がないものと思う。男子2女子3有り。二女は絵の天才らしく賞状を沢山に貰っていた。お産に行った事があるので世間話をして帰る。	9:50～ 10:30	記載なし	記載なし	記載なし
		丁度お昼頃で気の毒であった。集団指導に出席出来なかったが今後あったら行くと言って居られた。下の子供が小学4年生になっている。それから調節を実行しているが一二度失敗したと云はれた。荻野式を詳しく話して帰る。 郷横畑 バス代30円	12:30～ 13:10	サンシーゴールド 1 サンシーセット 1	2	137

年月日	天気	指導内容	指導時間	器具薬品品目	数量	金額(円)
昭和37年 7月27日	曇り	6年程前不妊手術を受けて居り調節の必要なし。	17:30～ 18:00	記載なし	記載なし	記載なし
		5、6年前からコンドーム法を実行してゐる。子供さんの事等話して帰る。	18:30～ 18:50	エフピーシルク 3 エフピーゼリー 30 1	4	89
		7、8年前からペッサリーを使っていたが、一度失敗したので今はコンドームを使用している。	19:30～ 20:20	ソフト 1 サンシーゴールド 1 エフピーシルク 1	3	118
		妊娠9か月であった。入院分娩をせられるのでその準備や心構えの注意をした。 バス代30円	20:30～ 20:40	記載なし	記載なし	記載なし
昭和37年 8月3日	曇り後 雨	男子3人女子1人あるのでそろそろ調節の必要があるので色々話す。荻野式等は集団指導の時に云ってあるので話がしやすい。スキンを差し上げた。	16:00～ 16:40	サンシースキン 1 エフピースキン 1 ソフト 1 エフピーゼリー 30 1	4	121
		生後6か月の赤ちゃんが1人有るきりであった。しかしあまり早く後が生まれても困るのでスキンを勧めておいた。 バス代20円	16:50～ 17:20	ソフト 1 サンシーゴールド 1	2	100
昭和37年 8月4日	晴	初めてのお子さんが股関節脱臼で長らく苦勞をしたので早くから調節をしていたが、其後身体も弱く3年前に不妊手術を受けていた。 新居浜から今治迄、長期間子供を連れて医師の元に通われたお話を聞いて同情した。 バス代20円	16:10～ 16:40	記載なし	記載なし	記載なし
昭和37年 8月18日	晴	2人の子供の内1人は高校を出て就職して出て居り、1人は高校1年である。末の子供を7才で死なせて(海に落ちて死んだ)居るので淋しく、もう1人くらいはほしいとの事だがもう10年も生まれぬ。それで調節の必要なし。	16:00～ 16:40	記載なし	記載なし	記載なし
		此内は3人子供がある。末が5才になっている。早くからコンドーム法で調節している。基礎体温の取り方や荻野式の説明等して帰る。 バス代20円	16:50～ 17:30	ソフト 1 体温計 1 エフピーゼリー 50cc 1 コンドーム 1 サンシーシルバー 1	5	226
昭和37年 8月20日	晴	子供は男子1人女子3人有り。4、5年前から調節を実行して居られる。器具を買いに行くのはやはり気まわりが悪いので訪問を喜んで下さった。 御家庭の事情等を色々伺った。	16:30～ 17:00	ソフト 2 体温計 1	3	185
		女子2人有り。男子がもう1人ほしいのだが今は手のかかる病人を連れて居られるので、調節を実施して居られる。姑さんが未だ55才と云うのに治る見込みのない病気になって居られるので、お気の毒に思う。	17:30～ 18:00	ソフト 1 エフピーシルク 1	2	68

年月日	天気	指導内容	指導時間	器具薬品目	数量	金額(円)
昭和37年 8月21日	晴	3年程前から調節を実行して居られる。知人であった。ずっと成功して居られるので子供さん等の話をして帰る。	14:00～ 14:30	エフピーゼリー 30cc 1	1	35
昭和37年 8月23日	晴	21日午後4時10分頃一度訪問したが夕食の仕度のため帰る。23日は午後2時頃にお伺いした。お子さんは女子2人あり下の方が中学1年生になっていた。調節は4、5年前から実行して居られた。姑さんがじんぞう癌で死去された事等話して帰る。8月24日セット6ヶ受け取りました。	14:00～ 14:30	サンシーゴールド 3 ソフト 2	5	250
昭和37年 9月14日	雨後 曇り	男子1人女子2人の子供が有り下の子が生後5ヶ月。コンドーム法で調整して居り一度失敗した由。荻野式を説明して帰る。	9:50～ 10:20	ソフト 1 エフピーシルク 2 エフピーゼリー 50cc 1	4	141
		未だ子供が1人しかいないが、一室でせまいから調節したいと云はれるのでコンドームを勧めてみる。子供の育て方について色々話して帰る。	10:30～ 11:00	ソフト 1 エフピーシルク 1 サンシーシルク 1 体温計 1	4	161
		11時頃一度訪問したが留守だったので夕方訪問。初産に大変お産が重く帝王切開したので主人を始めとして皆が心配して、後は子供を産みたくないそうである。コンドームを勧めてみた。	17:00～ 17:30	ソフト 1 エフピーシルク 2	3	86
昭和37年 9月17日	曇り後 雨	午後2時30分のバスで穴井のYさんをお訪ねする。御主人は病気で市立病院へ入院しておられた。家庭の事や子供さんの事を話してみる。次々と病人が出来て困って居られるらしいので栄養の事等を話す。雨が降り出したので4時33分のバスにのった。	15:20～ 16:20	エフピーゼリー 30cc 2	2	70
		雨が降り出したので一旦帰るつもりでいたが又小やみになったので舌間で下りてSさんを訪問した。高校3年の娘さん1人でもう調節の必要もないお年になって居られた。御兄弟の話や家庭の事話して帰る。バス代120円	17:00～ 17:20	記載なし	記載なし	記載なし
昭和37年 9月18日	晴	仕事に出て居られたのを帰ってもらって話す。中学1年の子供さんが終わりでももしないのに子供はできないとのこと。男2人女2人の理想的な子持ち。年頃の娘さんが居られるので結婚の事等自分の経験等話して帰る。喜木往復バス代40円	14:40～ 15:10	記載なし	記載なし	記載なし
昭和37年 9月19日	晴	15時10分のバスで行く。折角行ったが留守。近所の人におたづねしたら2、3か月前に松山に転任になった由。こんな時には一寸御通知してくださいませ。 <u>(うっかりしておりました。今後はなお気をつけて連絡するようにいたします。)</u> 川之石雨井バス代70円	15:40～	記載なし	記載なし	記載なし

年月日	天気	指導内容	指導時間	器具薬品品目	数量	金額(円)
昭和37年 9月20日	晴のち曇	37. 9月分精算表 9月分精算(6/22~9/19) 個人指導(28世帯)¥1,400 御立替交通費¥370 基礎集団指導(3回)¥600 計 ¥2,370 上記金額は日通八幡浜営業所でお支払いいたしますからご査収願います *薬品販売額個人別につき調査中				前略朝夕めっきりと涼しくなってきました。先生にはおわかりありませんか。当社家族計画もおかげをもちまして今期計画を無事終了できましたことは先生がたのご協力の賜物と厚くお礼申し上げます。いよいよ10月1日以降下期計画として実施するのですが、10月から翌年3月までに個人指導を2回(3か月に1回のわり)実施することになっていきますからよろしくご援助願います。ご訪問されて転勤になっていた者がいましたが今後十分気をつけますのでおゆるし下さい。下期実施計画については一度研究会をもって種々ご相談いたしたいと思います。
昭和37年 11月21日	曇り	9時5分のバスで訪問。下の子供が7才で荻野式で調節している。若い時に看護婦をして居られた由。□生の事は中々詳しい。世間話をして帰る。	9:40~ 10:40	ソフト 2 エフピー 2 エフピーゼリー 30g 1	5	171 現金
		中学2年の娘さんが1人しかない。産後から胃が悪くなり2年程前まで苦しんだ由。今となつてはお産が恐ろしいとの事。子供さんの教育について話す。	11:00~ 12:00	ソフト 2	2	100 現金
		子供の教育のむつかしさについて。	14:00~ 14:30	エフピーゼリー 35g 3	3	105
		子供の病気の手当てについて。	14:50~ 15:20	記載なし	記載なし	記載なし
		26日午後0時より八幡浜保健所で集団指導有り出席。4時に帰る。 バス代60円				
昭和37年 11月28日	曇り後雨	テレビの近くに幼児を寄せぬ様注意。	14:00~ 14:30	記載なし	記載なし	記載なし
		近頃大分健康を取りもどした由。食事について話す。	15:30~ 16:10	ソフト 1	1	50
		荻野式の事について。	16:30~ 17:00	ソフト 1 サンシーシル バー 1	2	68
昭和37年 12月2日	曇り後晴	今年はストなしにすんだので奥さんも喜んで居られた。子供さんの事について話す。	15:30~ 16:00	エフピーゼリー 35g 1 ペッサリー 72.5 1	2	67
		赤ちゃんが度々腸ネンテンを起す由。共に心配する。最近はカルクなり自然に治る由。安心する。	14:30~ 15:00	ソフト 1	1	50
			16:30~ 17:10	記載なし	記載なし	記載なし
昭和37年 12月13日	晴	記載なし	12:00~	2回行ったが留守	記載なし	記載なし
		子供が世話がなくなったので内職して居られる。 バス代30円	16:00~ 16:20	記載なし	記載なし	記載なし

年月日	天気	指導内容	指導時間	器具薬品目	数量	金額(円)
昭和37年 12月15日	小雨	本人は留守でおばあさんと話す。足にかゆいものが出て来て困って居られた。手当てについて、孫の事等話す。姑さんの病気について話す。子供さんが中々元気に成長して居られた。調節も成功している。印をもらうのに長く待った。	13:00～ 14:00	記載なし	記載なし	記載なし
			14:30～ 15:00	ソフト	1	50
			15:30～ 16:30	サンシーゴールド 1 エフピーシルク 1 サンシーシルバー 2	4	104
			17:00～ 17:20	エフピーシルク 3 サンシーシルバー 2	5	90
昭和37年 12月16日	曇り	皆さん元気で居られた。夕方で充分話も出来なかった。奥さんがあみものが大変御上手で其の話を。長男が東京に居られるので一月程行って来られた由。そんな事を話す。	16:00～ 16:30	サンシーゴールド 4 ソフト 1	5	250
			16:40～ 17:00	記載なし	記載なし	記載なし
			17:10～ 17:30	記載なし	記載なし	記載なし
昭和37年 12月17日	晴	子供の教育について話した。赤ちゃんが小さいので、それに未だ1人しかないので調節はしていない。	17:00～ 17:30	サンシーゴールド 1 サンプーン 2	3	118 現金
			17:40～ 18:00	記載なし	記載なし	記載なし
			18:20～ 19:00	記載なし	記載なし	記載なし
昭和37年 12月21日	晴	中学生位の子供の教育について語る。	15:00～ 15:40	ソフト 2	2	100
		日中は仕事に行かれるので夜お伺いした。	19:10～ 19:40	記載なし	記載なし	記載なし
昭和38年 1月23日	曇り	1月精算(11/21～12/21) 個人指導24回(@50) ¥1,200 御立替交通費¥110 11/21集団指導¥200 計 ¥1,510 上記金額は八幡浜営業所でお支払いいたしますからご 査収願います ◎薬品販売額 給与徴収分 延10人 ¥934 2月分給与から源泉徴収します 現金徴収分 延3人 ¥389 計 ¥1,323	<p>今年は近年にない寒波の襲来で毎回大変のことと存じます。お元気でいられますか。 毎度ご親切にご指導を賜り厚くお礼申し上げます。 なお、今回は日誌を戴きながら大変遅くなって申し訳ありません。新年早々から業務に追われ、なにかとご無礼いたしました。あしからず御許し願います。 本日精算いたしましたのでよろしく願います。 寒さの候ご自愛をお祈りします。</p>			
昭和38年 3月5日	晴	何時かゆっくりベッサリー法を習い度いと云われた。子供の教育について話す。	11:00～ 11:30	記載なし	記載なし	記載なし
			13:00～ 13:25	ゼリー50cc 3 ソフト 2	5	265
			13:30～ 13:45	サンシーシルバー 2 エフピーゼリー 50cc 1	3	93 91

年月日	天気	指導内容	指導時間	器具薬品品目	数量	金額(円)
昭和38年 3月7日	晴	奥さんは元気になられたが、長男が少し弱いとかで心配して居られた。食事の事等話す。	14:00～ 14:20	記載なし	記載なし	記載なし
		器具も何も使わずに調節に成功している。	14:30～ 14:50	記載なし	記載なし	記載なし
		長男が学校を出て東京の会社に就職がきまったそうで喜んで居られた。	15:10～ 15:30	記載なし	記載なし	記載なし
昭和38年 3月10日	曇り	皆さんお褒りなし。	10:30～ 10:50	記載なし	記載なし	記載なし
			16:30～ 16:40	記載なし	記載なし	記載なし
			11:00～ 11:20	記載なし	記載なし	記載なし
昭和38年 3月13日	小雨	記載なし	10:10～ 10:30	サンシーシルバー 5	5	90
			14:40～ 15:00	サンシーシルバー 3	3	54
昭和38年 3月14日	小雨	家族の皆さん元気の由。家族計画にも成功している。子供さんも1ヶ年を過ぎて大分元気になり、腸ネンテンを起こさなくなった由。今の所調節をして居ない。	記載なし	エフピーゼリー 30cc 1	記載なし	35
			15:20～ 15:35	記載なし	記載なし	記載なし
			15:40～ 16:00	記載なし	記載なし	記載なし
昭和38年 3月18日	晴	長男の方が学校へ進学がきまり一安心された由。世間話をした。	19:20～ 19:40	サンプーン 1	1	50 現金
			19:20～ 19:40	記載なし	記載なし	記載なし
			16:20～ 16:30	記載なし	記載なし	記載なし
昭和38年 3月19日	晴	子供の教育や結婚の問題等について。	9:30～ 10:20	ソフト 1	1	50
		ご主人が近い内に退社する様な事を云って居られた	15:10～ 15:30	ソフト 5	5	250 現金
		2月に盲腸を切除した時に不妊手術を受けられた。	15:40～ 16:00	記載なし	記載なし	記載なし
		残品 エフピーゼリー 50cc 9 30cc 8 コンドーム 1 サンシーゼリー 4 ソフト 3 サンプーン 2 サンシーセット 9 サンシーシルバー2 現金300円は日誌に同封します。確かに受領いたしました。  永らく御無沙汰して居ります。前方は御招待に預かりましたのに都合悪く欠席いたしました。其後も思うにまかせず御期待にそ様な指導も致しませず、心苦しく存じて居ります。深く御詫び致します。 浅川静				
昭和38年 3月23日	晴	<u>精算(3/5～3/19)</u>  個人指導 20回(@50) ￥1,000 御立替金 0 計 ￥1,000 上記金額が日通八幡浜(営)で御支払いいたしますから ご査収願います 薬品販売額 八幡浜地区(3/5～3/19) 現金徴収分(3/23入金処理 ￥300) 4月分給与で徴収分 ￥535 計 835	浅川先生 豪雪の酷寒もすぎて彼岸絵となれば すっかり春らしくなってきました。毎 <input type="checkbox"/> 家族計画にご協力を賜わり厚くお礼 申します。 3月分の精算をいたしましたのでお受 取り願います。 次年度もよろしくご指導願います。			

年月日	天気	指導内容	指導時間	器具薬品目	数量	金額(円)
昭和38年 7月10日	曇り後 雨	不妊手術後順調にて御家族の方も皆御元気に居られた。 御家庭のお話や世間話をした。 子供さんの教育の事や親せきの人の事等話す。	10:30～ 10:50	記載なし	記載なし	記載なし
			16:00～ 16:30	記載なし	記載なし	記載なし
			17:45～ 18:00	記載なし	記載なし	記載なし
			17:00～ 17:30	サンシーゴールド 3 サンシーシルバー 3	6	204
昭和38年 7月11日	雨	一番下の子供さんが言語が少しわかりにくいと心配して居られたので、一度医師に診てもらおう様勧める。先月少し身体の調子が悪かったそうで、栄養の事等について話す。	14:00～ 14:30	サンシーシルバー	3	54 現金
			14:45～ 15:10	サンシーシルバー 1	1	18
			15:30～ 16:00	ソフト 1 エフピーゼリー 50cc 1	2	105
			16:30～ 17:00	エフピーゼリー 50cc 2 ソフト 2 サンシーシルバー 1	5	228
昭和38年 7月12日	晴	お姑さんの病気の事について話す。 子供さんの教育のむつかしさについて。 余り下が近いと困るので調節をして見ると云われるのでコンドーム法を勧めてみた。 Iさんは4月に退社して居られた。 バス代30円	14:00～ 14:20	記載なし	記載なし	記載なし
			15:30～ 16:00	シャンプー 2 サンシーゴールド 1	3	118 現金
			14:40～ 15:00	エフピーゼリー 50cc 1	1	55
			記載 なし	記載なし	記載なし	記載なし
			16:05～ 16:15	サンシーシルバー 3 ソフト 1	4	104 現金
昭和38年 7月16日	晴	皆さん異常なし。 バス代40円	11:00～ 11:20	エフピーゼリー 30cc 1 サンシーシルバー 1	2	53
			19:00～ 19:20	記載なし	記載なし	記載なし
			19:30～ 19:50	記載なし	記載なし	記載なし
昭和38年 7月20日	晴	皆さん異常なし。	16:30～ 16:50	サンシーシルバー 2	2	36
			17:10～ 17:30	ソフト 1	1	50
			17:40～ 18:00	記載なし	記載なし	記載なし
			18:15～ 18:30	記載なし	記載なし	記載なし

年月日	天気	指導内容	指導時間	器具薬品品目	数量	金額(円)
昭和38年 7月23日	晴	毎日お暑いことでございます。皆様御変わりもございませんか、御伺い致します。 先日は三越より結構なお中元を送っていただき有難うございました。支店長様へは御礼状を差上げましたがなおM様よりも宜しく御伝え下さいませ お仕事の方は一向成績が上りませんですみません。 バス代40円 浅川 サンシーシルバーを2グロス御送りくださいませ	10:00～ 10:30	記載なし	記載なし	記載なし
			12:30～ 12:45	サンシーセット 1	1	87 現金
			16:30～ 16:50	サンシーシルバー 4	4	72
昭和38年 8月5日	晴	精算(7/10～7/24)  個人指導 23回(@70) ￥1,610 御立替金 ￥110 計 ￥1,720 上記金額が日通八幡浜(営)で御支払しますから御受取り願います 薬品販売額 八幡浜地区(7/10～7/24) ￥1,184 内訳 8月分給与から徴収するもの ￥821 現金徴収分 ￥363 計 1,184	浅川先生 暑さきびしき折柄ご健勝のおもむき何よりと存じます。 毎□家族計画運動に一方ならぬご援助を賜り厚くお礼申し上げます。精算をいたしましたので御手数ですが八幡浜(営)でお受取り願います。薬品は別途送付申します。			
昭和38年 9月20日	晴	お家の増築が出来ていた。皆さん異常なし。	14:00～ 14:20	エフピーゼリー 50cc 1	1	55
			14:30～ 14:50	記載なし	記載なし	記載なし
昭和38年 10月1日	曇り	皆さん異常なし。 離乳の事について話す。	18:20～ 18:40	サンシーシルバー 1	1	18
			19:10～ 19:30	エフピーゼリー 50cc 2 30cc 1	3	145
			19:50～ 20:20	サンシーシルバー 1	1	18 現金
昭和38年 10月2日	晴	バス代50円	記載なし	記載なし	記載なし	記載なし
			記載なし	記載なし	記載なし	記載なし
			記載なし	記載なし	記載なし	記載なし
昭和38年 10月3日	晴	一寸した自動車事故にあわれて休んで居られた。しばらく世間話をして帰る。	15:10～ 15:40	記載なし	記載なし	記載なし
昭和38年 10月6日	晴	赤ちゃんが生まれていた。今度は女の子で喜んで居られた。育児について話した。近所の人も来られて話はずみ、時間を取りYさんに行ったが戸がしまっていたので帰った。	10:40～ 11:00	サンシーシルバー 5	5	90
			18:10～ 18:40	記載なし	記載なし	記載なし
昭和38年 10月20日	晴	バス代40円	10:00～ 10:20	記載なし	記載なし	記載なし
			10:30～ 10:50	記載なし	記載なし	記載なし
			11:00～ 11:20	記載なし	記載なし	記載なし

年月日	天気	指導内容	指導時間	器具薬品品目	数量	金額(円)
昭和38年 10月22日	晴	離乳の仕方について指導。 皆様異常なし。	14:30～ 15:00	記載なし	記載なし	記載なし
			16:30～ 16:50	記載なし	記載なし	記載なし
			17:40～ 18:00	記載なし	記載なし	記載なし
昭和38年 10月23日	晴	今日は御主人も居られて世間話をした。 外皆さん異常なし。 バス代40円	16:40～ 17:00	記載なし	記載なし	記載なし
			17:20～ 17:40	ソフト 1 サンプーン 2	記載なし	118 現金
			19:00～ 19:30	サンシーシルバー 3	記載なし	54
昭和38年 10月24日	曇り	記載なし	15:00～ 15:20	記載なし	記載なし	記載なし
			19:00～ 19:20	記載なし	記載なし	記載なし
昭和38年 10月31日	晴	<u>精算(9/20～10/24)</u> <u>個人指導 23回(@70) ¥1,610</u> <u>御立替金 ¥160</u> <u>計 ¥1,770</u> <u>上記金額が日通八幡浜(営)で御支払しますからお受取り願います</u> <u>薬品販売額</u> <u>八幡浜地区(9/20～10/24)</u> <u>¥498</u> <u>内訳</u> <u>¥362(11月分給与から源泉徴収)</u> <u>¥136(10/31現金入金済)</u>	<u>浅川先生</u> <u>秋冷の好季節となりました。</u> <u>先生にはご健勝のおもむきによると存じます。</u> <u>毎日のことながらご親切なご指導感謝いたしております。</u> <u>指導費の精算をいたしましたからお手数ですが、八幡浜(営)でお受取り願います。</u> <u>今後ともよろしくお願ひします。</u>			
昭和38年 12月12日	曇り	皆さん異常なし。 <u>FPゼリー50g1個55円</u> <u>FPゼリー30g1個35円</u> <u>FPソフト1個は50円ですからこの分の合計は210円となります。</u>	15:00～ 15:20	記載なし	記載なし	記載なし
			18:30～ 19:00	エフピーゼリー 50cc 1 エフピー30cc 3 ソフト 1	5	215 210 現金
			19:15～ 19:35	サンシーシルバー 1	1	18
昭和38年 12月13日	晴	記載なし。 <u>FPソフト1個は50円です。</u>	19:00～ 19:20	記載なし	記載なし	記載なし
			15:20～ 15:40	ソフト 1	記載なし	55 50 現金
			15:50～ 16:30	ソフト 1	1	55 50

年月日	天気	指導内容	指導時間	器具薬品品目	数量	金額(円)
昭和38年 12月14日	晴	10月より身体の調子が悪くて医師に診てもらって居られた。お話を聞くと更年期障害らしく栄養の事や無理をなさらぬ様話して帰る。 外の人は異常なし。 バス代40円	16:00～ 17:00	記載なし	記載なし	記載なし
			17:20～ 17:40	記載なし	記載なし	記載なし
			11:10～ 11:20	記載なし	記載なし	記載なし
昭和38年 12月19日	晴れ	二人目の子供を妊娠されたので喜んでおられた。妊娠時の注意等話して帰る。 外異常なし。 バス代40円50円	11:00～ 11:20	記載なし	記載なし	記載なし
			11:40～ 12:00	記載なし	記載なし	記載なし
			16:00～ 16:20	記載なし	記載なし	記載なし
昭和38年 12月20日	晴	子供さんの教育について話す。 サンシーゴールド1個50円 サンプーン錠1個34円ですから合計134円となります。	19:00～ 19:10	記載なし	記載なし	記載なし
			19:20～ 19:40	サンシーゴールド 2 サンプーン 1	3	145 134 現金
昭和38年 12月21日	曇り	記載なし	16:10～ 16:30	記載なし	記載なし	記載なし
			19:00～ 19:20	記載なし	記載なし	記載なし
			19:30～ 19:50	記載なし	記載なし	記載なし
昭和38年 12月23日	晴夜雨	年末で皆さん心忙しいらしいので長話も出来なかった。御主人のお帰りもおそいとかで食事の支度等して居られた。 外皆さん元気で居られた。  浅川先生もご多忙にもかかわらず熱心にご巡回下さり感謝します。今後業務上の事でご意見があれば小職にご反映願えれば幸甚に存じます。どうか良いご越年の程を祈ります。 バス代40円 サンシーゼリー50gは1個67円です。	18:30～ 18:50	サンシーゼリー 50cc 1	1	55 67
			19:00～ 19:20	サンシーシルバー 5	5	90 現金
			19:30～ 19:50	サンシーシルバー 2	2	36
			16:10～ 16:20	記載なし	記載なし	記載なし
昭和39年 1月7日	晴	精算(12/12～12/23)  個人指導 21回(@70) ￥1,470 御立替金 ￥175 計 ￥1,645 上記金額は日通八幡浜(営)で御支払しますからお受取り願います 薬品販売額(12/12～12/23) ￥655 内訳 ￥171(1月分給与から徴収) ￥484(現金入金分)	浅川先生 御多幸な新春を迎えられたことと存じます。今年も相変わらず御指導願います。指導上の問題とうにつきお気付の点は何かご教示願います。指導費の精算をいたしましたから御手数ながら八幡浜(営)でお受取下さい。 なお今回の分で赤鉛筆で印しているものについては薬品代金が一部相違していると存じますので訂正いたしておきました。ご検討願います。			

年月日	天気	指導内容	指導時間	器具薬品品目	数量	金額(円)
昭和39年 2月16日	晴	皆さん異常なし。	14:10～ 14:30	エフピーゼリー 50cc 1 30cc 1 ソフト 1	3	140
			15:20～ 15:35	エフピースキン 1	1	18
			記載 なし	記載なし	記載 なし	記載 なし
昭和39年 2月25日	晴	皆さん異常なし。	10:20～ 10:40	サンシーゼリー 50cc 1	1	67
			11:00～ 11:20	記載なし	記載 なし	記載 なし
			12:30～ 12:40	記載なし	記載 なし	記載 なし
昭和39年 3月8日	晴	相変わらずお姑さんの看病で大変の様子。御無理をなさらぬよう注意する。 外の方は異常なし。 バス代55円。	10:00～ 10:20	記載なし	記載 なし	記載 なし
			11:15～ 11:35	記載なし	記載 なし	記載 なし
			12:05～ 12:15	記載なし	記載 なし	記載 なし
昭和39年 3月20日	晴	近くお産をせられるので其事について色々話す。 他の方は異常なし。 バス代40円。	10:20～ 10:40	記載なし	記載 なし	記載 なし
			14:30～ 14:45	記載なし	記載 なし	記載 なし
			15:10～ 15:25	記載なし	記載 なし	記載 なし
昭和39年 3月22日	晴	4月から松山へ転居の由住宅の□事等話す。 7月頃出産の由。妊娠中の栄養や色々注意事項について話す。 バス代40円。	14:30～ 14:50	記載なし	記載 なし	記載 なし
			15:00～ 15:30	記載なし	記載 なし	記載 なし
			16:00～ 16:20	サンプーン 1	1	34 現金
昭和39年 3月23日	晴	離乳食について指導。 外の皆さん異常なし。	15:10～ 15:30	エフピースキン 3 サンシーゴールド 1	4	104
			16:00～ 16:10	記載なし	記載 なし	記載 なし
			16:30～ 16:45	記載なし	記載 なし	記載 なし
			17:05～ 17:20	記載なし	記載 なし	記載 なし

年月日	天気	指導内容	指導時間	器具薬品品目	数量	金額(円)
昭和39年 3月24日	雨	皆さん異常なし。 バス代30円 今度は年度末ですから早く仕事をすまして早く日誌を出そうと思って居りましたのに、やっぱり遅れて申し訳ございません。エフピースキンを12個程御送り下さいませ。薬品の残りもお調べの上お知らせ下さいませ。スキン3個立て替えました。浅川静	19:00～ 19:20	記載なし	記載なし	記載なし
			20:10～ 10:30	記載なし	記載なし	記載なし
昭和39年 4月11日	曇り	精算(39.2/16～3/24) 個人指導 21回(@70) ￥1,470 御立替金 ￥165 計 ￥1,635 上記金額は日通八幡浜(営)でお支払しますからお受取り願います 4月分薬品販売額 ￥363	拝啓 いつもご健勝の段およろこび申し上げます。 さて、家族計画運動の指導については毎〇〇ご親切なご指導を賜り厚くお礼申し上げます。 代金の精算をいたしましたからお手数ながら八幡浜(営)でお受取り願います。 草々			
昭和39年 6月7日	晴	2人目の赤ちゃんが生まれるので、つわりがひどいので、其の手当てについて説明した。 他の方は異常なし。	14:20～ 15:00	記載なし	記載なし	記載なし
			15:30～ 16:00	記載なし	記載なし	記載なし
			16:40～ 17:00	記載なし	記載なし	記載なし
昭和39年 6月14日	曇り	子供さんの就職もきまり一安心と云う所でした。	16:00～ 16:30	記載なし	記載なし	記載なし
		又少し浮腫が有り、心配して居られたので食事の事等注意した。	16:40～ 17:00	エフピースキン 2	2	36
昭和39年 6月15日	晴	皆さん異常なし。	14:00～ 14:20	ソフト 1	1	50
			15:00～ 15:50	エフピーゼリー 50cc 2	2	110
			16:00～ 16:30	記載なし	記載なし	記載なし
昭和39年 6月16日	晴	赤ちゃんも大分大きくなりました。母乳が足らぬのでミルクの足し方指導。	15:00～ 15:30	エフピースキン 1	1	18
		相変わらず病人をかかえてお気の毒である。	16:10～ 16:30	記載なし	記載なし	記載なし
昭和39年 6月20日	晴	皆様異常なし バス代30円	15:10～ 15:30	エフピーゼリー 50cc 1	1	55
			16:20～ 16:40	シャンプー	2	68 現金
			17:00～ 17:30	エフピースキン 4 ソフト 1	5	122

年月日	天気	指導内容	指導時間	器具薬品目	数量	金額(円)
昭和39年 6月24日	雨	7月に出産がせまったので大分苦しそうである。其事について話す。 個人指導 1 ペッサリー法 バス代40円	11:00～ 11:20	記載なし	記載なし	記載なし
			11:30～ 12:10	ペッサリー 1 サンシーゼリー 50cc 1	2	105 現金
			16:10～ 16:30	記載なし	記載なし	記載なし
昭和39年 6月25日	雨	エフピーゼリー50cc 3本、同じくスキン1サンプーン2を立て替えました。 一向仕事が進みません。お詫びいたします。 浅川静次に訪問するまでにエフピースキン12打ゼリー50cc 6本サンプーン5をお送りくださいませ バス代40円 バス代30円	19:20～ 19:50	記載なし	記載なし	記載なし
			20:00～ 20:20	エフピースキン 3	3	54
			6:50～ 7:20	記載なし	記載なし	記載なし
			11:00～ 11:20	記載なし	記載なし	記載なし
昭和39年 7月7日	晴	<u>精算(39.6/7～6/25)</u> 個人指導 20回(@70) ￥1,400 御立替金 ￥180 実地指導(ペッサリー法) 1回 ￥100 計 ￥1,680 <u>上記金額は日通八幡浜(営)でお支払しますからお受取り願います</u> 薬品販売額 給与徴収分 ￥445 8月分給料で徴収する 現金徴収分 ￥167 7月分で入金	拝啓 暑さも酷びしさもましてまいりましたがご健勝の段、およろこび申し上げます。 毎□ご親切なご指導を賜り厚くお礼申し上げます。 暑い時節のご指導は大変なことと存じますがよろしく願います。 支払代金の精算実施いたしましたから八幡浜営業所でお受け取り願います。			
昭和39年 9月13日	晴	皆さん異常なし。 バス代40円	10:30～ 10:50	記載なし	記載なし	記載なし
			11:10～ 11:30	記載なし	記載なし	記載なし
			11:40～ 12:00	記載なし	記載なし	記載なし
昭和39年 9月16日	晴	記載なし	14:20～ 14:40	記載なし	記載なし	記載なし
			14:50～ 15:00	記載なし	記載なし	記載なし
昭和39年 9月18日	晴	バス代40円	14:10～ 14:30	記載なし	記載なし	記載なし
			15:45～ 16:00	サンシーゴールド	5	250 現金
			17:10～ 17:30	エフピースキン	4	72
			記載なし	退職	記載なし	記載なし

年月日	天気	指導内容	指導時間	器具薬品品目	数量	金額(円)
昭和39年 9月20日	晴	記載なし	11:00～ 11:30	エフピーゼリー 50cc 2	2	110
			11:40～ 12:00	エフピースキン 2	2	36
			12:15～ 12:30	記載なし	記載なし	記載なし
昭和39年 9月26日	晴	バス代40円	18:10～ 18:30	記載なし	記載なし	記載なし
			記載なし	記載なし	記載なし	記載なし
			記載なし	記載なし	記載なし	記載なし
			記載なし	記載なし	記載なし	記載なし
			16:20～ 16:40	エフピーゼリー 50cc	1	55
昭和39年 9月27日	晴	赤ちゃんの育て方について色々話す。 菊花の季節になってきました。皆様御変りはございませ んか。 日誌が大変遅れました。私の薬品の残高をお知らせ下 さい。 エフピーゼリー50cc 5本 スキン12打サンシーゴールド 12打右お送りくださいませ	14:00～ 14:20	記載なし	記載なし	記載なし
			14:30～ 15:00	記載なし	記載なし	記載なし
昭和39年 11月17日	晴	<u>精算(9/13～9/27)</u> 個人指導 18回(@70) ￥1,260 御立替金 ￥120 計 ￥1,380 上記金額は日通八幡浜(営)でお支払しますからお受取り 願います ◎39年9月末薬品残高数量 サンシルバー 2 サンシーゴールド 0 FPシルク 5 FPソフト 2 FPゼリー50g 1 FPゼリー30g 3 サンシーゼリー50g 1 サンシーゼリー30g 2 サンプーン錠剤 4 ペッサリー 0 体温計 4 体温表 0 (注) 9/13～9/27で販売された数は差し引いておりま す。 なお上記数字の上に今回送付されたものを加算すると 現在数となるはずです	拝啓 晩秋の候とあいなりました。ご健勝の ことと心からおよろこび申します。 当社家族計画運動については毎□親切 なご指導を賜りご厚礼もうします。貴 地区の班の両編成もできたようです から、機会をみてグループ指導を実施さ れるようお願いいたします。 さて指導手当の精算が大変おくれ申訳 ありませぬが、右記のとおり実施しま したから八幡浜日通でご受取下さい。			
昭和39年 12月17日	雨	顔面神経痛で長らくお悪かったそうですが、今は全快 して居られた。其事について暫らく話す。 外の方は皆御元気であった。 バス代40円	11:00～ 11:30	記載なし	記載なし	記載なし
			15:10～ 15:30	ソフト 2 サンプーン 2 エフピー 1 スキン 2	6	410 348 現金
			16:00～ 16:20	エフピーゼリー 50cc	1	110 現金

年月日	天気	指導内容	指導時間	器具薬品目	数量	金額(円)
昭和39年 12月19日	曇り	皆さん異常なし。 バス代30円	13:00～ 13:20	エフピースキン	2	72
			14:30～ 15:00	エフピーゼリー 50cc	2	220
			15:20～ 15:40	エフピースキン	1	36
昭和39年 12月20日	晴	皆さん異常なし。	11:00～ 11:30	エフピースキン	5	175 <u>180</u>
			記載なし	サンシーゴールド	1	100 <u>70</u>
			記載なし	記載なし	記載なし	記載なし
昭和39年 12月21日	晴	皆さん異常なし。 バス代30円	記載なし	記載なし	記載なし	記載なし
			記載なし	記載なし	記載なし	記載なし
			記載なし	記載なし	記載なし	記載なし
昭和39年 12月22日	晴	昨年末から大阪に病人が出来まして、正月10日頃まで上阪して居りました。1月末には又娘が悪くて、また岸和田の方へ参り孫や娘を連れて帰りました。何かと忙しく日誌を出すのが遅れてしまいました。暮れにはお歳暮をいただきましたのにお礼状も出させず、誠に申し訳ございません。今日漸やく日誌を出します。悪しからず御許し下さいませ。昨今急にお寒くなりましたが御自愛の程を御祈り致します バス代40円	18:00～ 18:20	記載なし	記載なし	記載なし
			18:40～ 19:00	体温計	1	170 現金 不足 30
			19:20～ 19:40	記載なし	記載なし	記載なし
			20:00～ 10:20	記載なし	記載なし	記載なし
昭和40年 2月11日	晴	<u>精算(12/17～12/22)</u> 個人指導 16回(@70) ￥1,120 御立替交通費 ￥140 計 ￥1,260 上記金額は日通八幡浜(当)でお支払しますからお受取り願います 薬品販売額 給与徴収分 ￥578 3月分給料で徴収する 現金徴収分 ￥658 2/11入金済	きびしい寒さが毎日続いておりますがご健勝の段祝着に存じます。 毎□ご親切なご指導を賜りご厚礼申します。 精算がおくれ申訳ありません。本日精算できましたからお受け取り願います。 現金徴収の薬品代で一部相違がありましたが、別紙のとおり内訳を書いておりますのでよろしくお願い致します。			
昭和40年 3月19日	晴	皆さん異常なし。 バス代30円	10:00～ 10:30	記載なし	記載なし	記載なし
			12:10～ 12:40	記載なし	記載なし	記載なし
			15:00～ 15:20	サンシーゴールド	1	100 現金

年月日	天気	指導内容	指導時間	器具薬品品目	数量	金額(円)
昭和40年 3月20日	晴	バス代30円	記載なし	記載なし	記載なし	記載なし
			15:30～ 16:00	エフピースキン	3	108
			16:50～ 17:10	記載なし	記載なし	記載なし
昭和40年 3月21日	晴	バス代30円	11:30～ 11:50	記載なし	記載なし	記載なし
			12:00～ 12:20	記載なし	記載なし	記載なし
			13:40～ 14:10	エフピーゼリー 50cc	1	110
昭和40年 3月22日	曇り	皆さん異常なし。 バス代40円	16:20～ 16:50	エフピースキン	2	72
			17:00～ 17:20	記載なし	記載なし	記載なし
			17:30～ 17:50	エフピースキン	1	36
昭和40年 3月23日	雨	皆さん異常なし。 バス代70円	10:05～ 10:20	エフピーゼリー 50cc	2	220
			10:30～ 10:50	記載なし	記載なし	記載なし
			15:00～ 15:20	記載なし	記載なし	記載なし
			15:40～ 16:00	記載なし	記載なし	記載なし
			17:10～ 17:40	記載なし	記載なし	記載なし
記載なし	記載なし	3/19～3/23 個 16×70=1,120円 交通費200円 1,320円	記載なし	記載なし	記載なし	記載なし

# 参 考 文 献

本資料目録の執筆に際して参照した主な参考文献は以下の通りです。記載した他にも多くの先行研究を参考にさせていただきました。

〔単行本〕

稲葉峯雄1973『草の根に生きる－愛媛の農村からの報告－』岩波書店  
吉村典子1985『お産と出会う』勁草書房  
大林道子1989『助産婦の戦後』勁草書房  
松岡悦子1991『出産の文化人類学』海鳴社  
吉村典子1992『子どもを産む』岩波書店  
西川麦子1997『ある近代産婆の物語』桂書房  
小山静子1999『家庭の生成と女性の国民化』勁草書房  
吉村典子編1999『出産前後の環境－からだ・文化・近代医療』昭和堂  
中山まき子2001『身体をめぐる政策と個人－母子健康センター事業の研究』勁草書房  
板橋春夫2009『出産－産育習俗の歴史と伝承「男性産婆」』社会評論社  
木村尚子2013『出産と生殖をめぐる攻防－産婆・助産婦団体と産科医の100年』大月書店  
大出春江2018『産婆と産院の日本近代』蒼弓社

〔雑誌記事、論文、紀要、報告書〕

1951「企業体における家族計画のすすめ方－人口問題研究会の指導方針から－」『旬刊福利厚生』6月28日(240)労務研究所  
1956「家族計画へのいざない 日通東京で始まった受胎調節運動」『運輸』第37巻11号運輸社  
杉本外喜子1981「日本通運金沢主管支店における家族計画指導状況について－(昭和33年4月～34年4月迄)」『助産婦雑誌』13巻8号  
高木雅文2012「戦後初期日本における受胎調節指導－職能団体機関誌にみられる助産婦の意識・実践を中心に－」『福岡大学人文論叢』第44巻第2号 福岡大学  
高木雅文2013「戦後日本の家族計画運動における受胎調節指導の変容－実地指導員としての助産婦の役割拡大と困難化」『日本の教育史学；教育史学会紀要』第56号  
小暮かおり 2016「日本の健康保険における出産給付の起源と給付方法の変遷－1927年から1945年の制度変化に注目して」『大原社会問題研究所雑誌』第698号法政大学大原社会問題研究所  
伊賀みどり2018「間宮うら氏のライフヒストリーを通してみる出産文化の変容」『国立歴史民俗博物館資料目録12 助産院・助産師資料目録』国立歴史民俗博物館  
国立歴史民俗博物館2018『国立歴史民俗博物館資料目録12 助産院・助産師資料目録』国立歴史民俗博物館

〔展覧会図録、パンフレット〕

亀岡市文化資料館2013『第53回企画展図録 かもおか子育て物語』  
横浜市歴史博物館2015『すくすく育てみんなの願い－出産と育児をめぐるモノがたり』  
茨城県立歴史館2025『令和7年度企画展2 出産と育児のあれこれ』

〔その他〕

小暮かおり「医療保険制度における出産の取扱いの歴史の変遷 令和6年11月13日第5回 妊娠・出産・産後における妊産婦等の支援策等に関する検討会」厚生労働省 mhiw.go.jp(参照2025-2-3)

---

愛媛県歴史文化博物館資料目録第34集

## 愛媛の助産師資料目録

発行日／令和8年3月31日

編集・発行／愛媛県歴史文化博物館

〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町4-11-2

TEL (0894) 62-6222 FAX (0894) 62-6161

印刷／岡田印刷株式会社

---